

# *Syllabus*

## 社会学研究科 博士（前期）課程

吉備国際大学

授業科目名	比較社会学特殊講義 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	赤坂 真人				NO.	SS-BU-1-301	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ この講義は社会学のプラットフォーム(理論枠組み)について詳細な検討を行う。</p> <p>到達目標 私たち人間は社会集団の中で生活している。そのメンバーの価値観や生活様式はそれぞれ異なっているが、世界はなんとか社会秩序を維持している。この講義を受講すれば、私たちの社会がいかんにして構成され、維持され、そして変化するかに関するメカニズムを理解できるようになる。</p>						
概要	<p>講義の全体を一言でいえば社会の構造と機能を明らかにすることである。社会構造はミクロからマクロへと分節化できる。講義ではマクロからミクロへ、すなわち行為、自我、文化、社会的行為、社会的役割と地位、社会集団と組織、社会規範、社会階級と階層、社会体制(システム)の順番で講義する。</p>						
評価方法	授業内の小テスト(30%)と定期試験(70%)によって評価する。小テストは採点して返却するので復習すること。						
履修条件・注意事項	欠席回数が5回を超えた場合定期試験は受験させない。無断欠席をしてはならない。						
自己学習	毎回、課題を出すので、必ずやってくること。毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に、研究室(9309)にて実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.人間社会の構造と機能 2.行為の構造 3.文化と環境 4.動機、目標、規範、価値 5.社会的行為 6.自我論 7.社会的自己 8.社会的役割と地位 9.社会的役割を演じるということ 10.社会集団と組織 11.社会階級と階層 12.社会規範 13.社会的価値 14.社会体制 15.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂				
教科書 1	社会学原理 著者： 富永健一 出版社： 岩波書店 ISBN： 978-4000010379						
教科書 2							
参考書 1	社会学の理論 著者： 橋本和幸編 出版社： 有斐閣ブックス ISBN：4641086494						
参考書 2							





授業科目名	比較社会学特殊講義Ⅶ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>Theme of this course: Comparative perspectives to environmental studies.  Goals: This course serves as a broad overview at the MA level to academic discourses, debates, and research approaches related to social sciences-oriented environmental studies.  The first gatherings will show how environmental topics have been treated in social sciences. Due to the interdisciplinary nature of environmental studies also the links with natural sciences and other relevant approaches are analysed. The attempt is made to explore some of the most acute and serious environmental issues and how different societies have responded to them.</p>						
概要	<p>Course description: Social attention to environmental issues is manifested in different modes in different societies. This course enhances the understanding on such differences by discussing several concrete examples. The perspectives of comparative studies of social issues and phenomena will be analysed by studying various social issues with emphasis on environment and nature protection and conservation. この科目は中学校社会と高校公民の専修免許を取得するための科目である。</p>						
評価方法	<p>The grading is based on students' participation in class activities (30%) and final individual research reports (60%: mid-term 35% and final 35%). It is expected that this course will be of use for the students who prepare for their MA research plans and theses.  なお、評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>The instruction will be given in English. 授業は英語で行う。受講に際しては、必ず授業内容についての予習・復習に取り組み、疑問点は教員に確認すること。</p>						
自己学習	<p>受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を課す。  Preparation for class sessions (30 hours) and following-up studies (30 hours) after class sessions are required. At each class session home assignments will be delivered to students.</p>						
オフィスワ-	Tuesdays 12:45-13:30 (classroom)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.Guidance for the course plan 2. Social scientific approaches 3. Social awareness 4. Environmental issues and EU 5. Environmental issues in USA 6. Environmental issues in Asia 7. Modernisation 8. Reflexivity 9. Water issues 10. Global warming 11. Wild birds and whaling 12. Environmental politics 13. NGO in environmental issues 14. Environmental governance 15. Final test		lecture lecture lecture lecture lecture lecture lecture lecture lecture lecture lecture lecture lecture lecture lecture lecture lecture test	Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö				
教科書 1	Evolution of International Environmental Regimes: The Case of Clime Change 著者: Schiele, Simone 出版社: Cambridge University Press ISBN: 978-1316603499						
教科書 2	Comparative Environmental Politics: Theory, Practice, and Prospects 著者: Steinberg, Paul F 出版社: The MTT Press ISBN: 978-0262693684						
参考書 1	Global Commons, Domestic Decisions: The Comparative Politics of Climate Change 著者: Harrison, Kathryn & Sundstrom, Lisa McIntosh (eds) 出版社: The MTT Press ISBN: 978-0262514316						
参考書 2							



授業科目名	地域社会論特殊講義 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	高橋 正巳					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:「文化と身体」ここでは文化とわれわれの身体関係を取り上げ、近現代社会が抱えていた陥穽を、「文化と身体」との関わりから講義する。文化と地域、そして社会の三者は密接不可分であると語られてきたが、周知のことだが、近代のスタート時にフランスのデカルトが「我思う、故に我あり」と語ったように、そこでは自分たちの「身体」が問題にされず、精神的な「自由な個人」が社会を構成するものとされてきた。だが、それまでは家庭教育、学校教育、そして宗教教育(日本では社会教育)の領域で、精神的にも身体的にも人間には人格personaが埋め込まれていると考えられていたけれども、近代における「自由な個人」はどこか人間ではなかった。そうした問題を含めて、ここでは精神的な規範や価値としての「文化」を「身体」に身に付けることの重要性を理解し議論できることを到達目標とする。また、この演習の受講生は専修免許を取得することが可能である。</p>						
概要	<p>最近まで、社会と文化の問題において行為や態度が取り上げられることがあっても「身体」を取り上げて議論をすることはめったになかった。しかし、例えば剣道の試合などで対戦相手と対面する時、相手に気を感じて勝敗の行方を感じ取ったり、後ろに誰かが立ったとき、その人の気配を感じたり、あるいはその人がいるだけで場の空気が一変したりなど、「身体」と社会、そして文化は深く結びついている。なにしろ自分の「身体」に社会的な慣習が身に付かなければ、人間関係に重要となる表情やしぐさなど、その役割さえ発揮されることができなくなる。一般にわれわれは「精神」について議論することは多いが、「身体」と「精神」の関係を問題として扱うことは少ない。だが、「身体」がなければ、誰かに名前を呼ばれることはないし、また、この世界の何物にも「触れる」ことさえできない。この「触れる」がなければ、われわれの知覚も働くことはなく、「精神」の活動さえ不可能となる。そこで、われわれ人間が具体的に持っている「身体」を取り上げて、それを再吟味することで「精神」と「身体」が持つ文化社会学的な意味を議論する。</p>						
評価方法	<p>講義への意見や態度に10点、読書レポート(レジュメ)および報告に60点、および試験に30点で、これを総合的に評価する。なお、評価のために課した小テスト等はフィードバックするので、試験までに復習すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>受講する学生と相談の上、文献などを決定するので、それを読んで整理しレポート(レジュメ)を作成して、これを講義内で報告し仲間と議論すること。専門書や資料などの整理や内容の吟味を含めて話し合うこと。また、受講する学生たちと相談の上、研究発表を兼ねることもある。</p>						
自己学習	<p>前もって講読する書籍や資料を、学生と相談の上で決定するので、質疑や応答が可能であるように、書籍や資料に目を通しノートに整理しておくこと。また、新聞を読んだりテレビのニュースを聞いたりし、それをまとめておくこと。講義の資料を参考に予習2時間と講義終了後には復習2時間をやること。</p>						
オフィスワ-	火曜日 昼休みと4時限目(1258研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
(1) オリエンテーション(自己紹介) (2) 感覚の訓練と教育 (3) 身体と知覚、そして意味喪失 (4) 宗教儀礼としての芸能と祭り (5) 身体の分節と衣装 (6) 坐の文化と安楽な姿勢 (7) 歌うことと自分の声の誕生 (8) 同調する身体 (9) 個人化における身体接触 (10) 相互行為における挨拶 (11) 聖の接吻・俗の接吻 (12) 耳の世界と眼の世界 (13) 身体とことばの「同時性」 (14) 身体における「共同の現在」 (15) 単位認定小論試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋					
教科書 1	必要に応じて随時指定する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	地域社会論特殊講義Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	高橋 正巳					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマは春期に続き「文化と身体」。ここではわれわれの文化と身体との関連を取り上げ、近現代社会が見落としていた視点を、文化的な「精神」と「身体」との関わりから話を進める。というのも、たとえば、われわれは自分の喜怒哀楽を「身体」を使って表現するが、「身体」がなければ泣いたり悲しんだり、笑ったり楽しんだりができないからである。では、「身体」の奥底からわき上がる感性や感情と「精神」とを切り離すことが出来るだろうか。確かに「精神」は感情や感性を抜きに働くとも考えることができる。しかし、その「精神」の源泉となる認識は、「身体」の感覚を通して関心をもった内容からでき上がっているの、認識の中心にあるのも「身体」である。このような意味で、「文化と身体」をテーマとして取り上げながら、「文化」が「身体」と大きく関わっていることを熟考し議論できることを到達目標とする。また、この演習の受講生は専修免許を取得することが可能である。</p>						
概要	<p>われわれ人間は健康で元気であるとき、ほとんど自己の「身体」には配慮しない。「身体」に異常がなければそれを意識することは少ないからである。だが、ある意味でだが、これは自己自身を自覚していないことに等しい。でも、われわれが健康であるならば「身体」など問題にしなくてもよいという考え方があ。それでよいのだろうか。たとえそうであっても、われわれは食べなければ生きては行けないし、見ることや聞こく、触れることなど、いわゆる感覚の根源性も、時間の経過とともに老いる無常感も、あるいは他者と具体的に接触する社交性も、いずれも「身体」があって可能となることである。そこで、ここでは「身体と文化」との関わりをテーマとしながら、人間の「精神」と文化社会との関わりを学生と一緒に話し合う予定である。</p>						
評価方法	講義への意見や態度に10点、読書レポート(レジュメ)、小論および報告に60点、および試験に30点で、これを総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	<p>受講する学生と相談の上、文献などを決定するので、それを読んで整理しレポート(レジュメ)を作成して、これを講義内で報告し仲間と議論すること。専門書や資料などの整理や内容の吟味を含めて話し合うこと。また、受講する学生たちと相談の上、研究発表を兼ねることもある。なお、評価のために課した小テスト等はフィードバックするので、試験までに復習すること。</p>						
自己学習	<p>前もって講読する書籍や資料を、学生と相談の上で決定するので、質疑や応答が可能であるように、書籍や資料に目を通しノートに整理しておくこと。また、新聞を読んだりテレビのニュースを聞いたりし、それをまとめておくこと。講義の資料を参考に予習2時間と講義終了後には復習2時間をやること。</p>						
オフィスアワー	火曜日 昼休みと4時限目(1258研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ul style="list-style-type: none"> <li>〈1〉オリエンテーション(自己紹介)</li> <li>〈2〉意識する・しない身体</li> <li>〈3〉「食」と「意識しない身体」</li> <li>〈4〉老病死と健康との文化的文脈</li> <li>〈5〉「心身」の二元論と「身心一如」</li> <li>〈6〉生苦と「諦観」の文化</li> <li>〈7〉「お陰さま」と「型の文化」</li> <li>〈8〉身体における同調性と自律性</li> <li>〈9〉「時の文化」と「生」の構造</li> <li>〈10〉「生」における「時」と「道」</li> <li>〈11〉時令思想と「道の儀礼」</li> <li>〈12〉「業」と「共業」の関係</li> <li>〈13〉「共業」と「世間」、そして社会</li> <li>〈14〉「身心一如」の文化と社会構造</li> <li>〈15〉質問・意見</li> <li>〈16〉単位認定小論試験</li> </ul>			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋
教科書 1	必要に応じて随時指定する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	地域社会論特殊講義Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	李 分一					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この講義のテーマは、「アジア地域研究」とする。21世紀初頭の世界は、あらゆる分野と領域においてグローバリゼーション(世界化)とリージョナリゼーション(地域化)が同時進行している。これらの視点と認識をしっかりと理解することが大切である。この講義を受講すれば、多様で多元的なアジアの姿を理解することができる。また、国際地域研究とは何か、そしてどのように進めるべきかなどの知識を身に付けることができる。						
概要	21世紀初頭の世界は、あらゆる分野と領域においてグローバリゼーション(世界化)とリージョナリゼーション(地域化)が同時進行している。この講義では、「東アジア共同体」構想の問題を追及する。東アジア共同体構想をめぐる視点と現状、そして実現への道筋などについて、多面的・総合的な研究、国際・国内の相互比較論的接近、そして地域と国際の結合(融合)という三つの学び方から探求する。 ちなみに、この講義を受講すれば、教員の専修免許(中学社会・高校公民・高校地理歴史)が取得可能である。						
評価方法	定期試験(80%)、提出物(20%)によって評価する。 提出物は、授業中にフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	(1)授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2)単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。						
自己学習	(1)参加型授業のために、受講者は事前課題を調べた上で参加すべきである。授業は、この課題をめぐって討論式で行う。 (2)受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。						
オフィスアワー	水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.中韓両国の視点と立場 3.東アジアの地域経済協力 4.日韓両国の視点と立場 5.東アジアにおける金融協力 6.日中両国の視点と立場 7.東アジア経済共同体とその構築 8.ASEANの視点と立場 9.華人ビジネスネットワーク 10.東アジアの華人経済と社会 11.日本のエレクトロニクス 12.日本のアジア戦略 13.東アジア共同体構築 14.越境移民の現状 15.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李				
教科書 1	東アジア共同体の構築 著者:西口清勝・夏剛 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:4-623-04615-X C3331						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							



授業科目名	地域社会論特殊講義Ⅶ				履修期	2020年度 春学期	
担当者	岡崎 郁子					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	台湾は長いあいだ外来政権に支配された歴史をもつ地域・社会である。民族・言語・社会形態を見ても実に多様性に富む。ここでは複雑に絡む台湾・中国・日本の歴史を読み解くことをテーマとしている。それによって東アジア全体、ひいては世界の未来を見据える視点を養うのが到達目標である。						
概要	国連に加盟していない一地域ということで、隣国でありながらあまり認識されてこなかった台湾を取り挙げる。台湾の自然環境・社会環境を含むあらゆる特色と個性を、講義を通じて概観する。この科目は専修免許に該当する(中学社会・高校公民)。						
評価方法	単位認定試験(60%)、授業姿勢(40%)による総合評価。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	予習・復習のために指示した課題を毎回点検するので欠席しないこと。						
自己学習	毎回授業時に予習(2時間)と復習(2時間)をするための課題を指示する。						
オフィスアワー	金曜日授業の前後						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 誰の歴史か? 3. 先史時代の台湾(上) 4. 先史時代の台湾(下) 5. 先住民(上) 6. 先住民(下) 7. オーストロネシア語族 8. 「美麗島」の出現 9. 漢人の故郷(上) 10. 漢人の故郷(下) 11. 漢人と先住民の関係(上) 12. 漢人と先住民の関係(下) 13. 移民開墾社会(上) 14. 移民開墾社会(下) 15. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎				
教科書 1	図説台湾の歴史(増補版) 著者:周婉筠 出版社:平凡社 ISBN:ISBN978-4-582-41109-6						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	地域社会論特殊講義Ⅷ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	岡崎 郁子					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	台湾は長いあいだ外来政権に支配された歴史をもつ地域・社会である。民族・言語・社会体制を見ても実に多様性に富む。ここでは複雑に絡む台湾・中国・日本の歴史を読み解くことをテーマとしている。それによって東アジア全体、ひいては世界の未来を見据える視点が養えるようになる。						
概要	国連に加盟していない一地域ということで、隣国でありながらあまり認識されてこなかった台湾を取り上げる。台湾の自然環境・社会環境を含むあらゆる特色と個性を、講義を通じて概観する。この科目は専修免許に該当する(中学社会・高校公民)。						
評価方法	単位認定試験(60%)、授業姿勢(40%)による総合評価。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	予習・復習のために指示した課題を毎回点検するので欠席しないこと。						
自己学習	毎回授業時に予習(2時間)と復習(2時間)をするための課題を指示する。						
オフィスアワー	金曜日授業の前夜						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. オリエンテーション 2. 日本統治時代(上) 3. 日本統治時代(下) 4. 二大抗日事件 5. 植民地と近代化(上) 6. 植民地と近代化(下) 7. 知識人の反植民地運動 8. 台湾の芸術世界 9. 戦争下の台湾(上) 10. 戦争下の台湾(下) 11. ポストコロニアルの泥沼 12. 二二八事件(上) 13. 二二八事件(下) 14. 白色テロの時代 15. 党国教育 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎
教科書 1	図説台湾の歴史(増補版) 著者:周婉窈 出版社:平凡社 ISBN:ISBN978-4-582-41109-6						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	産業社会論特殊講義 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	姜 明求					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「経営理論の理解」がテーマである。到達目標は、単に、教科書をマスターするのではなく、自分なりの問題意識を持つとともにマネジメントの基本的な分析枠組みを理解することである。また、マネジメント及び経営理論、思想の変遷を体系的に理解するとともに、読解力の養成、文章のまとめる能力、情報の収集力、それに基づいて企業の具体的な事例を分析できるようになることが目標である。						
概要	<p>現在、企業を取り巻く環境は激変し、グローバル化、情報化が急激な勢いで進展している。企業はこれらの変化に迅速かつ柔軟に対応するための管理能力の構築が求められている。本授業では、マズロー、ちチャドラー、ドラッカといった幾多の経営学者・経営思想家が、どのような時代背景の中で経営理論を編み出したのかという流れを理解し、深く学習することができる。また、現代の企業が抱える問題を解決するための貴重な知識・材料を得ることができる。</p> <p>授業の概要は、科学的管理法の登場、フォードの大量生産、アルフレッド・スローンの経営モデル、ホーソン実験と動態的管理、日本的経営などである。この授業はマネジメント理論の基本的なことを理解するとともに、マネジメント理論の多様なアプローチやもの見方を学ぶことを目的とする。</p> <p>また、本講義では、教科書を輪読してもらい内容を理解する。受講者は、各章毎に担当者が要約・問題提起のレジュメを作成して報告する。その後、報告に基づいて受講者全員で討論する。授業スケジュールについては、第1回授業時に説明する。テキストは変更可能である。</p>						
評価方法	プレゼンテーション、発表内容と討論への姿勢(40%)、単位認定試験(60%)によって総合的に評価。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業であるので、問題意識を持つと共に、しっかり予習をし、出席して積極的な姿勢で討論に参加すること。また、復習をすること。メール、携帯電話、私語、無断退室、無断欠席は厳禁。						
自己学習	毎回討論に参加するために予習の徹底(毎回2時間)と講義後に復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.ストップウォッチ・サイエンス 3.モダン・タイムス 4.組織の発見 5.ケースの研究 6.人間の発見 7.戦時中の教訓 8.夢の生活 9.戦略の理解 10.組織的な麻痺 11.エクセレントな冒険 12.新しいパワーバランス 13.マネジメントの現状 14.総合復習 15.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜					
教科書 1	マネジメントの世紀1901-2000 著者:岸本義之・黒岩健一郎訳 出版社:東洋経済						
教科書 2							
参考書 1	講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	産業社会論特殊講義IV			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	姜 明求					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	到達目標は、単に教科書をマスターするのではなく、自分なりの問題意識を持つと共に国際経営の基本的な分析枠組みを理解することにある。また、経営学と国際経営の基礎知識を身につけると共に、情報収集力、読解力の養成、コミュニケーション能力、それに基づいて国際経営の具体的な事例を分析できるようになることが目標である						
概要	<p>世界経済がポータレス化し、地球規模で企業が競争する時代になった。この時代を生き抜くには、経営のグローバル化が欠かせない。企業の国際化とは、企業が国境を越えて経営をすることである。国境を越えれば、国が変わり、人種や文化が変わる。経済の発展段階も様々である。実に多様な要因が、国境を越えると変わることである。ということで、国際経営論は自国とは異なる経営環境のもとでビジネスを進めるために不可欠な知識である。</p> <p>講義の概要は、グローバル化とは、日本企業のグローバル化への奇跡、日本企業へのグローバル化のインパクト、グローバル企業の経営戦略、グローバル企業の組織、グローバル企業の生産などである。この授業は企業がグローバル化を展開するときに必要なとされる様々な知識、国際経営の基本的なことを学ぶことを目的とする。</p> <p>また、本講義では、教科書を輪読してもらい内容を理解する。受講者は、各章毎に担当者が要約・問題提起のレジュメを作成して報告する。その後、報告に基づいて受講者全員で討論する。授業スケジュールについては、第1回授業時に説明する。テキストは変更可能である。</p>						
評価方法	プレゼンテーション、発表内容と討論への姿勢(40%)、単位認定試験(60%)によって総合的に評価。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業であるので、問題意識を持つと共に、しっかり予習をし、出席して積極的な姿勢で討論に参加すること。また、復習をすること。メール、携帯電話、私語、無断退室、無断欠席は厳禁。						
自己学習	毎回討論に参加するために配布資料の予習の徹底(毎回2時間)と演習後には復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.経営集中化とグローバル 3.食品の世界企業を目指す 4.戦略提携の企図とリスク 5.ノートパソコンの首位企業の栄え6.グローバルSCMの構築 7.生産システムの海外移転 8.タイにおける販売革新 9.SPAと中国調達 10.中国での事業展開 11.欧州地域統括会社 12.アメリカにおけるハイブリット型 13.情報システムによる生産管理 14.テレビゲーム企業の国際戦略 15.総合復習 16.単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜
教科書 1	ケースブック国際経営 著者:吉原英樹・板垣博 編 出版社:有斐閣ブックス ISBN:ISBN4-641-08683-4						
教科書 2							
参考書 1	講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
参考書 2							



授業科目名	産業社会論特殊講義Ⅶ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	湧田 英明					NO.	
配当学科	社会学研究科(修士)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本の経営という場合には特殊日本的な経営方式が存在するか否かという問題があるが、日本の会社が「実際に」どういう経営をしているかという即事的な認識という課題もまた存在する。これが本講義のテーマである。地理的、歴史的環境の検討、日本の経営に関する諸論を踏まえつつ、経営事例を取り上げて研究者としてどのように分析していくか、受講者とともに考えていこうと思う。方法論及び実態分析法を身につけることを目標とする。本講義は中高社会科専修免許を求め人にも更なる専門的知見を提供することを念頭に置いている。						
概要	日本の経営論をレビューしつつ、如上の目標を達成するべく方法論的考察を行う。講義、場合によってはコロキウム方式による文献購読読論を取り入れる。事例研究は講義の進捗を見ながら適宜、資料を配布する。						
評価方法	課題レポート70%。諸文献の理解度、また、講義時に講師が発する質問への対応30%も評価の対象となる。課題等については、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	文献購読に際しては下読み及び下調べが必要となることは言うに及ばないことである。また、事例研究の資料についても同様である。討議の際の質問も、当該課題についての予習を前提にしてなされるものである。履修者の予習が講義内容を決定する側面もあるので各自、責任をもって参加してもらいたい。						
自己学習	事前に配布される資料、課題について予習復習は不可欠である。各2時間						
オフィスワ-	講義の前後 受講者には常時、連絡できるようにする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
①開講／オリエンテーション ②講義：日本の経営論の系譜(1) (課題文献【1】配布) ③講義：日本の経営論の系譜(2) (質疑応答) ⑤ 課題文献【1】講読 (事例【1】配布) ⑥事例【1】検討 ⑦評価 ⑧講義：文化論とアプローチ(1)(課題文献【2】配布) ⑨課題文献【2】講読 (事例【2】配布) ⑩事例【2】検討 討論 ⑪評価 ⑫講義：日本社会論と経営文化(課題文献【3】配布) ⑬課題文献【3】購読 (事例【3】配布) ⑭事例【3】検討 討論 ⑮評価 (課題レポート)について ⑯講評  事例の詳細は公にしない	講義と演習 講義と演習 講義と演習 講義と演習 講義と演習 講義と演習 講義と演習 講義と演習 講義と演習 講義と演習 講義と演習 講義と演習 講義と演習 講義と演習	湧田 英明 湧田 英明					
教科書 1	奥田健二『人と経営 日本経営管理史研究』マネジメント社1985. 参考文献は適宜、紹介する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							



授業科目名	スポーツ社会論特殊講義Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	高藤 順					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	体育・スポーツの社会学的研究をテーマとして、スポーツを取り巻く社会との関連についての知識を身につける。そのためにも、スポーツの現状について理解するとともに、その研究成果の基礎的知識を理解する。加えて、スポーツ社会学に関する修士論文作成につながる能力が高めることができることを到達目標とする。						
概要	体育・スポーツの現状と課題について、社会学的研究視点から考察する。スポーツ社会学などの先行研究を取り上げ、これまで議論されてきたことについて検討する。さらに、自分自身がスポーツに関わる現場においてマネジメントできる能力が身につくようグループディスカッションを主体とした方式による授業を行う。この科目は、日本女子サッカーリーグ所属クラブにおいて監督・運営責任者としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、スポーツマネジメント現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	毎回の講義終了後の小レポート、議論への参加(40%)課題レポートおよび発表(60%)なお、評価のために実施した小レポートは、授業でフィードバックするので最終試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	「スポーツ」に関する文献を数多く精読すること。事前に課題を出し、それについて調べたことを元に、参加型の授業を行うので、予習が必須である。また、授業終了後には、その内容を復習し小レポートにまとめること。						
自己学習	初回授業より毎回資料を配布するので、その資料を精読し、自分の考察をまとめプレゼンテーションできるよう、2時間の予習をしておくこと。また、授業終了後は、修士論文につなげるよう毎回2時間復習すること。						
オフィスワ-	個人研究室(9405)にて、水曜日4限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.スポーツ社会学の必要性 2.スポーツの社会学的理解 3.スポーツの文化システム 4.スポーツの社会システム 5.スポーツと政治・経済 6.日本人のスポーツ観 7.日本的スポーツ集団の形成とその性格 8.日本的スポーツ組織の歴史的・社会的性格 9.生涯スポーツ・コミュニティスポーツ 10.日本のスポーツ政策 11.スポーツとコマーシャルイズム 12.スポーツビジネスにおけるマネジメント(外部講師) 13.体育の社会的構造と機能 14.体育の学習指導過程 15.今後の体育・スポーツの社会学的課題 16.最終レポート・プレゼンテーション	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 レポート・発表	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤		
教科書 1	スポーツ社会学講義 著者:森川貞夫・佐伯聰夫 出版社:大修館書店 ISBN:978-4-469-26140-0						
教科書 2	スポーツ戦略論 著者:上田滋夢・堀野博幸・松山博明 出版社:大修館書店 ISBN:978-4-469-26825-6						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	スポーツ社会論特殊講義Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	天岡 寛					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「健やかで豊に生きるための生涯スポーツ活動の実現」をテーマとし、生涯スポーツの概念、内容への理解を深めることを目標とする。						
概要	<p>近年、我が国における社会変化と国民の健康・体力づくりへの関心の高まりが示す生涯スポーツ社会の実現への需要の高まりは、現代社会におけるスポーツ活動、健康の維持・増進のための運動、生きがいづくりといった多様なニーズを担うものである。本講義では、社会の変化と生涯スポーツ活動の在り方について理論を学び、教養的な知識を得ることができる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、研究実績のある者が担当する。研究活動の経験から、研究活動の進め方や課題、それを解決するために必要とされる知識や能力について講義し、理解を深める。</p>						
評価方法	最終試験(50%)及び発表、ディスカッションへの参加を重視する(40%)。また受講態度についても評価の対象とする(10%)。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び指示された予習を行うこと。適宜、レポートの作成・提出を行う。						
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要な資料を探し、熟読してくること。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと(各2時間程度)。						
オフィス-	水曜日4時限目 9号館4階研究室(9407)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
オリエンテーション 1 生涯スポーツの概念 2 生涯スポーツの理念 3 社会と生涯スポーツ 4 少子社会と生涯スポーツ 5 高齢社会と生涯スポーツ 6 健康社会と生涯スポーツ 7 国際社会と生涯スポーツ 8 社会変化と生涯スポーツ 9 現代文化における生涯スポーツ 10 余暇活動と生涯スポーツ 11 都市部と生涯スポーツ 12 農村部と生涯スポーツ 13 ニューススポーツと生涯スポーツ 14 社会科学と生涯スポーツ 15 最終試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡				
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							



授業科目名	スポーツ社会論特殊講義Ⅴ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	竹内 研					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	『人間の身体性』というテーマに関して、社会における人間の有様、社会に対する認識、社会への働きかけ、社会との関係性などについて理解し、考察を行えるようになる。ともすれば社会の構成要素(員)の一部として存在するかのように捉えられがちな現代社会における人間の存在感について、その身体に立脚した主体的存在であるとの概念を確立できることを到達目標とする。						
概要	近年、様々分野で、人間の身体性に関する問い直しが行われている。一方、機械論的また心身二元論的な概念を基盤とする思考は、相も変わらず根強くかつ幅広く展開されている。しかるに、人間の様々な認識においても、精密科学の発展の成果も相まって、主体性ある人間の主観の重要性に社会の目が向き始めていることも事実である。現代社会において、人間の身体性に関わる文化としては最たるものである、スポーツ、武術、ボディーワークを材料として、社会的存在である人間の特性について考察し、人、社会、文化、教育などにおける認識の基盤を得る。						
評価方法	授業時に課すレポートで30%、最終レポートで70%にて評価を行う。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	毎回の授業の予習と復習は十分に行うこと。						
自己学習	毎回の授業に際して、事前に関連の論文を検索し抄読を2時間、授業後にその論文の概要を資料としてまとめ自己の考察を加えること2時間を行うこと。						
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室(6330)にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1オリエンテーション 2身体性に関する概説 3主体と客体 4主体性と環界としての社会 5間主体性と人間と社会 6身体運動文化における身体性 7厳密科学と人間学的運動学 8スポーツ科学の限界性 9記号現象としての身体運動文化 10人間の関係性と身体 11競技スポーツの社会的存在意義と身体性 12武術、ボディーワークの社会的存在意義と身体性 13身体知 14現代社会における身体知の育成 15まとめと総括 16最終レポート	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 レポート試験	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内					
教科書 1	ゆるめる身体学 出版社: 青山社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	スポーツ社会論特殊講義VI			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	竹内 研					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	『社会というシステムの機能』をテーマとし、さらに変容・発展していくためには、言うまでもなく人材の育成が重要である。育成される人材は当然のことながら、社会性を備えた人材でなくてはならず、また育成は社会においてなされるものである。本講義では、社会とのかかわり、人間対人間の関係性の中で執り行われる、人間の成長とその育成に関する、方法的原理を理解することを到達目標とする。						
概要	現代社会に生きる人々の育成において、身体運動文化であるスポーツや武術が多くの人々に対して、その場となっているのは、多言を要しない。加えて、これらの場における育成方法には、古今東西の文化的特性を踏まえて、実に様々な方法論や原則論が存在する。言い換えればそれは、その時その場での社会規範や思想を反映している。また、高度情報化社会、多様な価値観の時代、超高齢化社会そしてグローバル化などによって、従来の教育学的・心理学的原則にのっとりた方法論のみでは過不足が生じる。本講義では、人間同士及び人間と社会の関係性を基軸とする、新たな原則論にのっとりた、人材の教育・育成に関する方法論を展開する。						
評価方法	授業時に課すレポートで30%、最終レポートで70%にて評価を行う。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	毎回の授業の予習と復習は十分に行うこと。						
自己学習	毎回の授業に際して、事前に関連の論文を検索・抄読を2時間、授業後はその論文の概要を資料としてまとめ自己の考察を加えることを2時間行うこと。						
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室(6339)にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1オリエンテーション 2ゲシュタルト 3ホメオスタシスと認知的不協和 4情報空間とセルフイメージ 5RASとスコトマ 6セルフエフィカシー 7コレクティブ・セルフエフィカシー 8ソシオメトリック構造 9ラポール 10ソーシャルサポート 11ゴールの設定とステータスクオ 12コンフォートゾーン 13情動記憶 14創造的無意識 15まとめと総括 16最終レポート		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 最終レポート	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内				
教科書 1	コンフォートゾーンの作り方 出版社:フォレスト出版						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	スポーツ社会論特殊講義Ⅶ			履修期	2020年度 春学期			
担当者	山口 英峰					NO.		
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次				
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	本講義のテーマは「健康と社会」である。健康の社会的な意義を理解し、健康と現代社会の理想的なあり方について考える。私たちの健康や生活をとりまくさまざまな社会状況を理解することで、社会と健康との関わりについて理解を深めることができる。将来にわたる健康に対する考え方を学び、様々な視点から健康についての問題を提議し、実態や諸課題を整理することを到達目標とする。							
概要	健康についての正しい知識に加え、健康に対する考え方について学ぶ。それらをふまえた上で、現代社会における健康や病気の社会的要因について把握する。特に、現代社の生活に着目し、健康に関わる諸要因との関連性について講義を進めていく。							
評価方法	レポート(70%)、討議への参加(30%)から総合的に評価する。なお、評価のために実施したレポート課題等については講義内でフィードバックする。							
履修条件・注意事項	主体的な取り組みが必須である。教員はそれを最大限にサポートする。本講義は予習復習が必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。							
自己学習	本講義は予習復習が2時間程度必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので次回の授業時に発表すること。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01. オリエンテーション		講義	山口					
02. 健康のとらえ方		講義	山口					
03. 現代社会と健康観		講義	山口					
04. 現代社会と疾病		講義	山口					
05. 現代社会の生活と健康(1)労働		講義	山口					
06. 現代社会の生活と健康(2)休養と心		講義	山口					
07. 現代社会の生活と健康(3)ストレス		講義	山口					
08. 現代社会の生活と健康(4)喫煙		講義	山口					
09. 現代社会の生活と健康(5)飲酒		講義	山口					
10. 現代社会の生活と健康(6)睡眠		講義	山口					
11. 現代社会の生活と健康(7)食生活		講義	山口					
12. 現代社会の生活と健康(8)生活リズム		講義	山口					
13. 現代社会の生活と健康(8)運動不足		講義	山口					
14. 現代社会における生き方		講義	山口					
教科書 1	中高年の運動実践ハンドブック 出版社:昭和堂 ISBN:978-4-8122-0749-9							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	スポーツ社会論特殊講義Ⅷ				履修期	2020年度 秋学期		
担当者	山口 英峰					NO.		
配当学科	社会学研究科(博士前期)				年次			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	社会と健康との関係性について理解し、健康と社会の理想的なあり方について様々な視点から考える。学生は、社会や環境に対して健康的によりよく変えていくための視点、考え方を身につけることができる。健康に関連していることを多角的に学ぶ。様々な視点から健康に関わる諸問題を提議し、実態や諸課題を整理することを到達目標とする。							
概要	人の健康について、生活の場である地域社会、労働、家族等の関連において理解したうえで、健康に生きるための方策を様々な視点から探求する。学生は健康に関する制度政策についても理解することができる。							
評価方法	講義中のレポート(70%)、討議への参加(30%)から総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。							
履修条件・注意事項	主体的な取り組みが必須である。教員はそれを最大限にサポートする。							
自己学習	本講義は予習復習が各2時間程度必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			01. オリエンテーション 02. 健康とは 03. 健康づくり施策 04. ヘルスプロモーションのあり方 05. 健康と疾病 06. 健康と社会のかかわり 07. 健康と福祉のかかわり 08. 健康と高齢社会 09. 高齢者の社会保障 10. 介護保険と介護予防 11. 健康と労働 12. 健康と家族 13. 健康と地域社会 14. 健康支援システム 15. 総括			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口	
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	文献研究 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	姜 明求					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「経営学の基本的な分析枠組みの理解」がテーマである。到達目標は、単に教科書をマスターするのではなく、文献の読解やディスカッションなどを通し経営学的なものの方や考え方、自分なりの問題意識を持つと共に経営学の理論、経営学の基本的な分析枠組みを理解することにある。また、経営学の基礎知識を身につけると共に、読解力の養成、コミュニケーション能力、それに基づいて企業の具体的な事例を分析できるようになることが目標である。						
概要	講義の概要は、企業のマネジメントとはなにか、戦略とは何か、競争のための差別化、競争優位とビジネスシステム、企業構造の再編成、国際化の戦略、組織構造、などである。この授業は経営学の基本的な理念を理解すると共に、経営学が研究してきた多様なアプローチやものの見方を学ぶことを目的とする。また、本講義では、教科書を輪読してもらい内容を理解する。受講者は、各章毎に担当者が要約・問題提起のレジュメを作成して報告する。その後、報告に基づいて受講者全員で討論する。授業スケジュールについては、第1回授業時に説明する。また、テキストは変更可能である。						
評価方法	プレゼンテーション、発表内容と討論への姿勢(40%)、単位認定試験(60%)によって総合的に評価。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業であるので、問題意識を持つと共に、しっかり予習をし、出席して積極的な姿勢で討論に参加すること。また、復習をすること。メール、携帯電話、私語、無断退室、無断欠席は厳禁。						
自己学習	毎回討論に参加するために予習の徹底(毎回2時間)と講義後に復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.企業のマネジメントとは 3.戦略とはなにか 4.競争のための差別化 5.競争優位とビジネスシステム 6.多角化と事業ポートフォリオ 7.企業構造の再編成 8.国際化の戦略 9.資本構造のマネジメント 10.雇用構造のマネジメント 11.組織と個人ね経営の働き 12.組織構造 13.インセンティブシステム 14.総合復習 15.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜					
教科書 1	ゼミナール経営学入門 第3版 著者:伊丹敬之・加護野忠勇 出版社:日本経済新聞社						
教科書 2							
参考書 1	講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	文献研究Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	姜 明求					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「経営学の分析枠組みの理解」がテーマである。到達目標は、単に教科書をマスターするのではなく、文献の読解やディスカッションなどを通し経営学的なものの見方や考え方、自分なりの問題意識を持つと共に経営学の理論、経営学の基本的な分析枠組みを理解することにある。また、経営学の基礎知識を身につけると共に、読解力の養成、コミュニケーション能力、それに基づいて企業の具体的な事例を分析できるようになることが目標である。						
概要	講義の概要は、計画とコントロール、経営理念と組織文化、リーダーシップ、ケースの研究、人の配置・育成・選抜、企業成長のパラトックス、場のマネジメント、コーポレートガバナンス、などである。この授業は経営学の基本的な理念を理解すると共に、経営学が研究してきた多様なアプローチやものの見方を学ぶことを目的とする。また、本講義では、教科書を輪読してもらい内容を理解する。受講者は、各章毎に担当者が要約・問題提起のレジュメを作成して報告する。その後、報告に基づいて受講者全員で討論する。授業スケジュールについては、第1回授業時に説明する。テキストは変更可能である。						
評価方法	プレゼンテーション、発表内容と討論への姿勢(40%)、単位認定試験(60%)によって総合的に評価。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業であるので、問題意識を持つと共に、しっかり予習をし、出席して積極的な姿勢で討論に参加すること。また、復習をすること。メール、携帯電話、私語、無断退室、無断欠席は厳禁。						
自己学習	毎回討論に参加するために予習の徹底(毎回2時間)と講義後に復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスアワー	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.計画とコントロール、プロセス システム 3.経営理念と組織文化 4.リーダーシップ 5.ケースの研究 6.ケースの研究 7.人の配置、育成、選抜 8.矛盾、学習、心理的エネルギーのダイナミクス 9.パラタイム転換のマネジメント 10.企業成長のパラトックス 11.ケースの研究 12.場のマネジメント 13.企業という生き物、経営者の役割 14.コーポレートガバナンス 15.全体のまとめ 16.単位認定試験	講義 講義  講義 講義 講義 講義 講義  講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 姜  姜 姜 姜 姜 姜  姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜		
教科書 1	ゼミナール経営学入門 第3版 著者:伊丹敬之・加護野忠勇 出版社:日本経済新聞社						
教科書 2							
参考書 1	講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	文献研究Ⅲ			履修期	2020年度 春学期			
担当者	岡崎 郁子					NO.		
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	中国という国家を、世界の歴史から捉え直すための文献を教材として選び、現代中国の立ち位置を理解・研究することがテーマである。 以上から到達目標は、文革から天安門事件、チベット、台湾、琉球というこれまであまり取り上げられてこなかった事例を、文献を通して読み進めることによって、東南アジア諸国および世界における中国という国家の全体像が理解できるようになる。							
概要	1960年代の東南アジア諸国は、民族解放運動の活発化・植民地主義の終焉を迎えていたが、中国は社会主義国家の変質に対して深く憂慮していた時期である。そこから文革が起こり、大規模な政治的迫害をもたらすことになった。その後、米ソの冷戦を経て、世界では民族一国家を超えようという潮流が生まれるが、中国はチベット、台湾、琉球の民族主義と政治的主体性との関係をどのように捉え、いまに至っているのかについて考えていく。							
評価方法	単位認定試験(60%)、授業姿勢(40%)による総合評価。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	予習・復習のために指示した課題を毎回点検するので欠席しないこと。							
自己学習	毎回授業時に予習(2時間)と復習(2時間)をするための課題を指示する。							
オフィスアワー	水曜日授業の前後							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 中国における1960年代 2. 脱政治化をめぐる 3. 60年代の社会運動 4. 60年代の社会組織 5. 国体制の危機 6. 政治と党 7. 政治イデオロギー 8. 琉球の戦争記憶 9. 琉球アイデンティティ 10. 冷戦との関係 11. 国際規則の巨大な変化 12. 帝国主義国際法 13. 民族解放運動と国際関係 14. カイロ会議と中国 15. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎					
教科書 1	世界史のなかの中国 著者: 汪暉 出版社: 青土社 ISBN: ISBN978-4-7917-6586-7							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	文献研究IV			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	岡崎 郁子					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>中国という国家を、世界の歴史から捉え直すための文献を教材として選び、現代中国の立ち位置を理解・研究することがテーマである。</p> <p>以上から到達目標は、文革から天安門事件、チベット、台湾、琉球というこれまであまり取り上げられてこなかった事例を、文献を通して読み進めることによって、東南アジア諸国および世界における中国という国家の全体像が理解できるようになる。</p>						
概要	<p>1960年代の東南アジア諸国は、民族解放運動の活発化・植民地主義の終焉を迎えていたが、中国は社会主義国家の変質に対して深く憂慮していた時期である、そこから文革が起こり、大規模な政治的迫害をもたらすことになった。その後、米ソの冷戦を経て、世界では民族一国家を超えようという潮流が生まれるが、中国はチベット、台湾、琉球の民族主義と政治的主体性との関係をどのように捉え、いまに至っているのかについて考えていく。</p>						
評価方法	<p>単位認定試験(60%)、授業姿勢(40%)による総合評価。</p> <p>なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>予習・復習のために指示した課題を毎回点検するので欠席しないこと。</p>						
自己学習	<p>毎回授業時に予習(2時間)と復習(2時間)をするための課題を指示する。</p>						
オフィスアワー	<p>水曜日授業の前後</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 琉球の曖昧性</li> <li>2. 琉球の政治的選択</li> <li>3. 東西間のチベット問題</li> <li>4. オリエンタリズムの幻影</li> <li>5. 植民地主義とナショナリズム</li> <li>6. 民族区域自治</li> <li>7. 多元一体</li> <li>8. ポスト革命</li> <li>9. 宗教社会</li> <li>10. 市場拡張</li> <li>11. 社会流動</li> <li>12. 多民族社会</li> <li>13. 台湾のアイデンティティ</li> <li>14. 台湾の自治</li> <li>15. 台湾と中国</li> <li>16. 単位認定試験</li> </ol>			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎
教科書 1	<p>世界史のなかの中国            著者: 汪暉            出版社: 青土社            ISBN: ISBN978-4-7917-6586-7</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ 本年度は「大学と教養教育」をテーマとする。アメリカでは大学(学部)は教養教育(リベラルアーツ)に特化し、専門教育は大学院で始まるが、日本では重視されていない。教養はなぜ必要なのかについて考える。この科目は中学公民と高校地歴の専修免許を取得するための必修科目である。</p> <p>到達目標 この講義によって学生は人間にとって教養とは何か？自分が生きている意味、世界、歴史の重要性を理解できるようになる。また文献購読とディベートにより論理的思考ができるようになる。</p>						
概要	偉大な古典を読むと、著者たちが社会科学のみならず人文科学、哲学、自然科学にも習熟していたことが分かる。我が国の文部科学省は大学の教養課程を廃止してしまったが、これが現代日本の大学迷走に関する一つの原因である。ビジネスの分野で成功のカギを握るのは教養教育によって鍛えられた思考力、コミュニケーション能力である。演習では教養について考えながら、同時に論理的思考、批判的思考、分析的思考、創造的思考を鍛えてゆく。						
評価方法	試験(100%)によって評価する。提出した課題は評価して返却するので復習すること。						
履修条件・注意事項	欠席する場合には必ず連絡するように。						
自己学習	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。提出した課題は評価して返却するので必ず復習すること。						
オフィス-	火曜4限(13:10~16:40)に研究室(9309)にて実施する。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.教養主義が輝いたとき 2.エリート文化学生のうねり 3.50年代キャンパス文化 4.「教養」という言葉の起源 5.「教養」の定義 6.「教養」と「修養」 7.日本における教養主義の成立 8.学歴エリートの教養主義 9.教養主義の没落 10.ハバーマスによる教養の定義 11.現代日本の教養 12.アメリカの大学の教養教育 13.日本の大学の教養教育の破壊 14.教養主義の破壊とその余波 15.定期試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂				
教科書 1	教養主義の没落 著者： 竹内 洋 出版社： 中公新書 ISBN： 978-412-1017048						
教科書 2	大学と教養教育 著者： 吉田 文 出版社： 岩波書店 ISBN： 978-4000258791						
参考書 1	これが教養だ 著者： 清水真木 出版社： 新潮新書 ISBN： 978-4106103612						
参考書 2	日本型教養の運命 著者： 筒井清忠 出版社： 岩波現代文庫 ISBN： 978-4006002312						

授業科目名	社会学研究演習 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	天岡 寛					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:研究計画の検討と研究手法の学びー研究活動のための基礎的学びー</p> <p>到達目標:受講学生の掲げている計画内容について、目的を明確化するとともに、そのテーマをめぐる一般的な知識、実態や諸課題を整理する。また、研究テーマに沿って、効果的な具体的研究方法を定め、分析を実施し研究を進展させていける力を備えることができる(受講学生は指導教員と十分に相談し、研究アプローチ、手法や研究内容も決定させていく)。</p>						
概要	<p>研究計画に基づき、研究枠組みを検討し合い、研究目的の明確化をしていく。さまざまな研究方法について、内容の把握を行ないながら、研究計画で予定している方法が望ましいかどうか、再度検討を重ねる。研究テーマに沿いながら、関係領域の基本的な文献、また先行研究から学びながら研究テーマに関する内容の理解を深め、着眼点を掘り下げられるように議論していく。研究仮説の言語化とともに、大まかな研究スケジュールを考案できるように取り組むことができる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、研究実績のある者が担当する。研究活動の経験から、研究活動の進め方や課題、それを解決するために必要とされる知識や能力について講義し、理解を深める。</p>						
評価方法	<p>どのような研究でも、受講学生の研究への主体性がかなめである。文献や研究論文などによる内容理解への努力や、テーマを掘り下げていく姿勢及び研究指導に対する姿勢(30%)、質疑応答における発言状況(30%)、研究進捗状況に応じた提出物の内容(40%)から、総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次の授業時に発表すること。</p>						
自己学習	<p>毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要な資料を探し、熟読してくること。また、研究テーマにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと(各2時間程度)。</p>						
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室(9407)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 研究計画内容の検討(1)計画概要について	演習	天岡					
2. 研究計画内容の検討(2)テーマをめぐる問題	演習	天岡					
3. 関係する文献からの検討(1)先行研究検索から	演習	天岡					
4. 関係する文献からの検討(2)先行研究の概要	演習	天岡					
5. 関係する文献からの検討(3)先行研究を基盤にした質疑応答	演習	天岡					
6. 関係する文献からの検討(4)先行研究からの方法の検討	演習	天岡					
7. 研究方法について(1)質的方法	演習	天岡					
8. 研究方法について(2)量的方法	演習	天岡					
9. 研究方法について(3)調査計画の検討	演習	天岡					
10. 研究方法について(4)具体的調査方法の検討	演習	天岡					
11. 報告・発表などの準備(1)研究概要の修正	演習	天岡					
12. 報告・発表などの準備(2)要旨等の作成	演習	天岡					
13. 調査内容、研究仮説の検討	演習	天岡					
14. 研究スケジュール、調査準備作業	演習	天岡					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							



授業科目名	社会学研究演習 I				履修期	2020年度 春学期	
担当者	高橋 正巳					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマは「論文執筆に向けた準備作業の考察」。この時期は修士論文の執筆に向けた最初の準備時期でもあるので、ここでのテーマは「学生の研究テーマ」を決定すること、そしてその後論文執筆に向けた作業や手順を確認することである。そこで学生は、テーマの選択→修論執筆のスケジュール→文献資料収集(実験、実地調査、アンケート調査など)→先行研究の調査→独創的考えの吟味→議論の骨組み・素案(構想力)→発表・議論→推敲・執筆→見直し・調整の順に、議論や論理の正当性の検証、客観的な視点、あるいは反対意見への洞察など、いわゆる調査技術、分析力、整理力、構想力、論理力、表現力など、入門的な知識や考え方を身に付けることを到達目標とする。また、この演習の受講生は専修免許を取得することが可能である。</p>						
概要	<p>日本人学生にしろ留学生にしろ、まず、自分の経験や思考、あるいはアイデアを他者に向けて「なるほど」と思わせる、そんな説得ができる必要がある。たとえ学生がどんなに面白い経験や思考、あるいはすばらしいアイデアを持っていても、その内容を簡潔に整理し伝えることができないならば意味をなさない。ただ、それができるには、それ以前に、文章を読みその要点を把握しておくことが必要となる。そして、それを表現するには、自分の関心や主張、あるいは問題意識を、一つのテーマに絞り込み論理的に伝えることが大切となる。このテーマを見出すために、これまでの関心の幅を広げ、その水準を一層高める作業が欠かせない。この意味で、テーマの選択をしっかりと吟味しなければならない。そこで、ここでは、文献資料の収集、実験観察や参与観察などの社会調査を必要とするかどうか、あるいは先行研究ではどんな人がどんな内容を展開しているかなど、論文執筆に向けた準備作業と一緒に話し合うことになる。</p>						
評価方法	<p>自分の研究テーマに合わせながら、相談や報告、あるいは連絡をしっかりとすること。もちろん演習に参加しながら自分の関心を中心に、文献資料を整理したレジュメでもって発表することが欠かせない。評価のために課した小テスト等はフィードバックするので、試験までに復習すること。講義への参加状況を40点、読書レポート(レジュメ)および報告を60点として、これを総合的に評価する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>自分の研究テーマに則して議論するためにも、文献資料を収集しそれを理解するために、どの学生も日本語で書かれた専門用語をマスターする必要がある。それには、まず予習・復習を徹底すること。また、留学生は日本語能力検定試験N1の取得で安心するのではなく、さらに日本語を勉強してレベルを高めること。そして、いずれの学生も、一般教養や時事問題を大切にすると同時に、自分の研究に向けた専門書を熟読し、その内容を整理して発表することが欠かせない。</p>						
自己学習	<p>前もって講読する書籍や資料を、学生と相談の上で決定するので、応答や質疑が可能なように、書籍や資料に目を通してノートに整理しておくこと。また、新聞やテレビのニュースを読んだり聞いたりしてまとめること。講義の資料を参考に予習2時間と講義終了後は復習2時間をやること。</p>						
オフィスワ-	火曜日 昼休みと4時限目(1258研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション(自己紹介) 2. 研究テーマについて 3. 研究テーマの書籍・資料の探索 4. 資料の収集とその内容を発表 5. 文献資料と先行研究の整理 6. 現実の社会経済の眺め方 7. 現実社会経済の観察の仕方 8. 参与観察の必要性和重要生 9. 自己の研究テーマの明確化 10. 図式や表の作成 11. 図式や表とプレゼンテーション 12. 独自見解と研究との整合性 13. プレゼンテーションとは 14. 修論構想(章立て)と準備発表 15. 修論構想の発表と質疑応答		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋				
教科書 1	必要に応じて随時指定する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	竹内 研					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	『研究に於ける仮説検証』をテーマとし、調査(心理テストなども含めて)を計画・立案することができるようになる。さらに、調査票の作成や標本抽出に関して理解することができる。実際に調査を実施して、基本的な統計分析が行えるようになる。さらに、諸種の仮説検定について理解することができ、実際に仮説検定を用いて、検証を行うことができるようになる。これらの過程を通じて、調査研究の流れを理解することを到達目標とする。						
概要	集団を対象にした研究や、スポーツの指導の効果性などについて研究する場合、調査研究(心理テストなども含めて)は広く用いられる方法である。従って、本演習では、調査の実際の基本を学修する。まず、調査研究の標本について理解する。そして調査研究の種類とその特徴について学ぶ。調査用紙の作成方法を理解したうえで、標本を設定して、調査用紙を作成し、実際に調査を実施する。そして、収集した標本データについて、記述統計による分析を行ったうえで、仮説検定を行う。この過程において、仮説の検証のための統計手法について、実際に学修する。						
評価方法	調査研究の基本に対する理解(20%)、調査対象の設定と調査票の作成(20%)、統計分析の理解と実施(20%)、研究レポートの作成(40%)にて評価を行う。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	授業時に指導した内容に基づき、毎回次回の授業時まで、調査を実施していくための立案や作成を行わなくてはならない。この行程を経ながら、調査を実際に実施していく。						
自己学習	毎回の授業に際して、事前に関連の論文を検索し抄読することを2時間、授業後にその論文の概要を資料としてまとめ自己の考察を加えることを2時間行う。						
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室(6330)にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
(1)オリエンテーション (2)調査研究の概論 (3)縦断的調査と横断的調査 (4)振り返り調査と追跡調査 (5)コホ-ト研究と介入研究 (6)母集団と標本集団 (7)調査票の構成 (8)SPSSの基本操作 (9)データのタイプと記述統計 (10)集団の分布 (11)集団特性値 (12)属性の検定 (13)平均値の差の検定 (14)分散分析 (15)調査レポートの作成	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内					
教科書 1	SPSS超入門 出版社:東京図書						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							



授業科目名	社会学研究演習 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	山口 英峰					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	研究計画の検討と研究手法の学び-研究活動のための基礎的学びをテーマとする。受講生の掲げている計画内容について、目的を明確化するとともに、そのテーマをめぐる一般的な知識、実態や諸課題を整理することを到達目標とする。学生は、研究テーマに沿って、効果的な具体的研究方法を定め、分析を実施し研究を進展させていける力を備えることができる(受講生は指導教員と十分に相談し、研究アプローチ、手法や研究内容も決定させていく)。						
概要	研究計画に基づき、研究枠組みを検討し合い、研究目的の明確化をしていく。さまざまな研究方法について、内容の把握を行ないながら、研究計画で予定している方法が望ましいかどうか、再度検討を重ねる。研究テーマに沿いながら、関係領域の基本的な文献、また先行研究から学びながら研究テーマに関する内容の理解を深め、着眼点を掘り下げられるように議論していく。研究仮説の言語化とともに、大まかな研究スケジュールを考案できるように取り組む。						
評価方法	どのような研究でも、受講生の研究への主体性がかなめである。文献や研究論文などによる内容理解への努力や、テーマを掘り下げていく姿勢及び研究指導に対する姿勢(30%)、質疑応答における発言状況(30%)、研究進捗状況に応じた提出物の内容(40%)から総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。						
履修条件・注意事項	すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。						
自己学習	本講義は予習復習が各2時間程度必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
01. 研究計画内容の検討(1)計画概要について		演習	山口				
02. 研究計画内容の検討(2)テーマをめぐる問題		演習	山口				
03. 関係する文献からの検討(1)先行研究検索から		演習	山口				
04. 関係する文献からの検討(2)先行研究の概要		演習	山口				
05. 関係する文献からの検討(3)先行研究を基盤にした質疑応答		演習	山口				
06. 関係する文献からの検討(4)先行研究からの方法の検討		演習	山口				
07. 研究方法について(1)質的方法		演習	山口				
08. 研究方法について(2)量的方法		演習	山口				
09. 研究方法について(3)実験的手法		演習	山口				
10. 研究方法について(4)研究方法の検討		演習	山口				
11. 報告・発表などの準備(1)研究概要の修正		演習	山口				
12. 報告・発表などの準備(2)要旨等の作成		演習	山口				
13. 調査内容、研究仮説の検討		演習	山口				
14. まとめ		演習	山口				
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	李 分一					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>本研究演習のテーマは、「東アジア諸国の民主化政治とその社会的・経済的基盤」である。到達目標は、先進国型の民主主義体制と開発途上国型の権威主義体制の社会経済的な基盤を理解させるところにある。そして、歴史の視点と国際比較の視点を研究させる。この演習を受講すれば、日本と韓国の経験を中心に幅広く物事を捉える能力と、様々な方法論について理解することができる。</p> <p>なお、院生には関連文献を読みこなせ、まとめる能力と問題点の発見力、そして問題解決力の向上を目指す。ちなみに、関連文献や資料については、院生の関心事に対応する。研究方法論としては、歴史社会学的なアプローチに基づいた記述的実証分析となる。</p>						
概要	<p>指導教授および副指導教授の指導のもとに、大学院において研究を進めるために必要な準備と方向づけを行う。大学院生各自の興味・関心事・将来の希望などに基づいて、とりあえず研究領域を選択し、研究論文のテーマ(仮題で良い)を設定する。他の人と同じようなテーマではなく、できるだけユニークなものであることが望ましい。それについての基本的文献を読み始めながら、関連文献のリストを作成する。この関連文献のリストは、その後に行う研究の基盤となるものである。</p> <p>ちなみに、この演習を受講すれば、教員の専修免許(中学社会・高校公民・高校地理歴史)が取得可能になる。</p>						
評価方法	定期試験(60%)、提出物(40%)によって評価する。提出物は、授業中にフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	(1) 演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。						
自己学習	(1) 参加型演習であるために、事前課題を調べた上で参加すべきである。演習は、この課題をめぐって行う。 (2) 予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。						
オフィスワ-	水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.指定資料・テキスト輪読 3.東アジアの政治(政治体制) 4.東アジアの貿易 5.東アジアの投資 6.東アジアの宗教 7.東アジアの価値観・生き方 8.指定資料・テキスト発表 9.指定資料・テキスト討論 10.日中韓の政治動向 11.日中韓の貿易動向 12.日中韓の投資動向 13.日中韓の宗教 14.国際関係論の視点 15.定期試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李				
教科書 1	1週間前に文献および資料は示す。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ 社会学理論の基礎知識          どのような学問であれ、理論のない研究はありえない。科学とはさまざまな事象の中に法則を見出し、それらの理論命題を体系化してゆく作業である。</p> <p>到達目標          この講義では社会学研究において必要かつ不可欠な理論を学び、それらを応用できるようになることを目標とする。この科目は中学公民と高校地歴の専修免許を取得するための必修科目である。</p>						
概要	<p>研究演習Ⅱでは院生の研究テーマの確定作業と、テーマの関連文献の精査、行動文献の決定を行い。毎回、購読文献の報告および内容についての院生と指導教員との討論で進めてゆく。討論の対象となる文献を指導教員も読むことは言うまでもない。もし教員の研究内容と重なる場合、協同研究の形で演習を運営することもある。その場合、教員がすでに読んだ関連文献を教員が報告し、院生と討論する場合もある。</p>						
評価方法	試験(100%)によって評価する。課題や小論文は採点して返却するので必ず復習すること。						
履修条件・注意事項	研究の進捗状況によっては春休みも演習を続けることがある。						
自己学習	学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に、研究室(9309)にて実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.研究テーマに関する再検討。 2.意味世界としての社会的世界 3.社会はいかにして可能か 4.社会秩序という問い 5.事実生徒規範性 6.社会的世界の規範性 7.マイクロ-マクロ生成論と挫折 8.自生的秩序論 9.階級と権力の意味的秩序 10.社会システムは存在するか 11.理解社会学という方法 12.現象学という名の経験主義 13.リベラリズムの挑戦 14.規範的社会理論の可能性 15.協働性の学としての社会学 16.定期試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂
教科書 1	社会学とは何か 著者: 盛山和夫 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4623059461						
教科書 2							
参考書 1	適宜 教員が作成したプリントやレジュメを配布する。						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅱ				履修期	2020年度 秋学期	
担当者	天岡 寛					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:研究活動の調査や文献研究の実施ー研究の進行方法の理解ー</p> <p>到達目標:研究テーマに沿って、研究活動を具体的に進めていくことを目標とする。研究テーマに沿った研究手法を習得のため、各方法に応じた具体的な作業手順を学び、受講学生各自が自らの研究活動(調査や、フィールドワーク等)に臨む。文献研究を主としなくても、関連文献や統計資料の収集方法、文献の読み込み方、引用方法や各種資料の活用方法等について具体的に学び、その技術を身につけることを目標とする。春期に作成した研究計画をさらに練りながら、所定の発表会での要旨作成や口頭発表の経験を積み重ねることができる。</p>						
概要	<p>指導をもとに、研究テーマに沿って、テーマの周辺の知識を把握し、基礎的な入力を進めながら考察も展開していく。調査活動においては、その作業手順や守るべき調査の原則の理解を深め、実践的な取組を進めていきながら、研究の進め方を体得する。関連文献や統計資料の収集方法、文献の読み込み方を実際の文献や資料に実際にあたりながら指導を受け、検討を活性化させていく。研究の進展に応じて、各種文献や情報、資料等の引用方法、活用方法を学び取っていく。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、研究実績のある者が担当する。研究活動の経験から、研究活動の進め方や課題、それを解決するために必要とされる知識や能力について講義し、理解を深める。</p>						
評価方法	<p>どのような研究でも、受講学生の研究への主体性が要である。実際の研究活動へ臨む姿勢(調査手順の進め方)やテーマを掘り下げていく姿勢及び研究指導に対する姿勢(30%)、質疑応答における発言状況(30%)、研究進捗状況に応じた提出物の内容(40%)から、総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>研究は他の誰のためにするものでもない。自らが探求的に研究テーマを探り、積極的に読み込み、調べ、問い、聴き、考え、書く等の作業に絶え間ない努力をすること。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。</p>						
自己学習	<p>毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要な資料を探し、熟読してくること。また、研究テーマにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと(各2時間程度)。</p>						
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室(9407)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 研究テーマ周辺知識の整理と検討	演習	天岡					
2. 文献・資料の検討(1) 調査活動、考察に向けて	演習	天岡					
3. 文献・資料の検討(2) 論文形成の実践(引用等)	演習	天岡					
4. 研究内容についての議論(1) 基礎データの活用	演習	天岡					
5. 研究内容についての議論(2) 先行文献の活用	演習	天岡					
6. 研究内容についての議論(3) 論文の批評を通して	演習	天岡					
7. 研究内容についての議論(4) 先行研究と仮説	演習	天岡					
8. 調査の実施(1) プレテスト及び、実施手順	演習	天岡					
9. 調査の実施(2) 実施における留意点	演習	天岡					
10. 調査の実施(3) 実施の課題点の検討	演習	天岡					
11. 調査結果の分析(1) 分析の実施	演習	天岡					
12. 調査結果の分析(2) 結果の概要	演習	天岡					
13. 調査結果の分析(3) 仮説と結果から	演習	天岡					
14. 調査結果の分析(4) 結果から研究計画スケジュールの再検討	演習	天岡					
15. まとめ	演習	天岡					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							





授業科目名	社会学研究演習Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	竹内 研					NO.	
配当学科	社会学研究科(修士)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	『スポーツ・健康などの領域』をテーマとし、社会現象や集団現象に関する調査研究ではしばしば、対象集団の状況や、対象集団への働きかけの結果について検証する際、ある事象が生起する原因や因果関係について探求することが必要とされる。当然、客観性と普遍性を求めるために、統計的な手法が広く用いられる。記述的な統計手法による結果からでは見出すことができない、要因や関係などを明らかにするための統計的な方法について理解することを到達目標とする。						
概要	調査対象の標本から収集したデータの関連性を測り、そのうえでデータ間の関係を関数として記述し、それをもとに結果の予測を行う。さらに、多くの社会現象や集団に現れる現象は大半そうであるが、複雑な多要因間の関係性を有する。こうした分析が可能で、多変量解析を学ぶ。因果関係の分析のみならず、標本データの背後にある要因の分析方法、分類のための分析方法、カテゴリカルデータの多変量解析、などを実際にデータを分析しながら、学修学習する。また、因果関係を検証するための、ケースコントロール研究について理解して、実際の調査レポートを作成する。						
評価方法	回帰性の分析について(20%)、多変量解析に関する理解(40%)、ケースコントロール研究に対する理解(20%)、調査レポートの作成(20%)にて評価する。 評価のために実施したレポート等は、授業時にフィードバックする。						
履修条件・注意事項	毎時の授業時において指導された内容に基づき、サンプルデータに関して、指示された分析を行い、その結果を提出する。						
自己学習	毎回の授業に際して、事前に関連の論文を2時間、授業後にその論文の概要を資料としてまとめ自己の考察を加えることを2時間を行うこと。						
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室(6330)にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			(1)オリエンテーション (2)因果関係 (3)ケースコントロール研究 (4)相関分析 (5)回帰分析 (6)多変量解析の概要 (7)重相関係数 (8)重回帰分析 (9)因子分析 (10)主成分分析 (11)クラスター分析 (12)判別分析 (13)多次元尺度法 (14)数量化 (15)調査レポートの作成			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内
教科書 1	SPSSで学ぶ医療系データ解析 出版社:東京図書						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 修士論文の研究課題・テーマの精査          到達目標: 修士論文の研究計画の作成。          それぞれのテーマにおいて研究を発展させ、修士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、社会学研究演習1から4に至るステップが設定されている。研究課題について、関連文献・資料を収集・整理・分析して、研究課題を次第に精緻化していく。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、外部との研究交流をはかることにも努力する。</p>						
概要	<p>研究計画のデザインと作成に取り組む。          この演習の受講生は専修免許を取得することが可能である。</p>						
評価方法	<p>授業参加の積極性(20%)、中間レポート(40%)、最終試験(40%)によって評価する。          なお、評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>社会学研究演習1から4は必修である。事前の準備・予習をふまえて授業に参加し、事後の復習によって理解を徹底すること。</p>						
自己学習	<p>毎回授業で予習(30時間)と復習(30時間)をするための課題を指示する。</p>						
オフィスアワー	<p>12:45-13:30 Tuesdays (classroom).</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概要説明</li> <li>2. 研究計画について</li> <li>3. 研究計画の書き方</li> <li>4. 研究計画の骨子</li> <li>5. 研究計画の作成</li> <li>6. 研究計画案への助言</li> <li>7. 中間発表(中間レポート)</li> <li>8. 研究計画についての討論</li> <li>9. 研究計画と全体の構成</li> <li>10. 研究デザインと実際</li> <li>11. 研究計画の推敲: 課題の明確化</li> <li>12. 研究計画の完成</li> <li>13. 研究計画の口頭説明</li> <li>14. 研究プレゼンテーション準備</li> <li>15. 全体総括</li> <li>16. 最終試験</li> </ol>			exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises test	Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö
教科書 1	<p>How to Write a Master's Thesis          著者: Bui, Yvonne N.          出版社: Sage Inc.          ISBN: 978-1452203515</p>						
教科書 2							
参考書 1	<p>How to Write a Research Proposal and Thesis: A Manual for Students and Researchers          著者: Hamid, Mohamed E.          出版社: Createspace Independent Publishing Platform          ISBN: 978-1482675054</p>						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	山口 英峰					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	研究活動の調査や文献研究の実施(研究の進行方法の理解)をテーマとする。研究テーマに沿って、研究活動を具体的に進めていくことを到達目標とする。研究テーマに沿った研究手法を習得のため、各方法に応じた具体的な作業手順を学び、受講生各自が自らの研究活動(実験、調査やフィールドワーク等)に臨む。学生は、文献研究を主としなくても、関連文献や統計資料の収集方法、文献の読み込み方、引用方法や各種資料の活用方法等について具体的に学び、その技術を身につけることができる。春期に作成した研究計画をさらに練りながら、所定の発表会での要旨作成や口頭発表の経験を積み重ねていく。						
概要	指導をもとに、研究テーマに沿って、テーマの周辺の知識を把握し、基礎的な入力を進めながら考察も展開していく。調査活動においては、その作業手順や守るべき調査の原則の理解を深め、実践的な取組を進めていながら、研究の進め方を体得する。実験においては、機材の使い方を理解し、実際に活用出来る能力を身につける。関連文献や統計資料の収集方法、文献の読み込み方を実際の文献や資料に実際にあたりながら指導を受け、検討を活発化させていく。研究の進展に応じて、各種文献や情報、資料等の引用方法、活用方法を学び取っていく。						
評価方法	どのような研究でも、受講生の研究への主体性が要である。実際の研究活動へ臨む姿勢(調査手順の進め方)やテーマを掘り下げていく姿勢及び研究指導に対する姿勢(30%)、質疑応答における発言状況(30%)、研究進捗状況に応じた提出物の内容(40%)から、総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。						
履修条件・注意事項	研究は他の誰のためにするものでもない。自らが探求的に研究テーマを探り、積極的に読み込み、調べ、問い、聴き、考え、書く等の作業に絶え間ない努力をすること。						
自己学習	本講義は予習復習が各2時間程度必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次の授業時に発表すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01. 研究テーマ周辺知識の整理と検討 02. 文献・資料の検討(1) 調査活動、考察に向けて 03. 文献・資料の検討(2) 論文形成の実践(引用等) 04. 研究内容についての議論(1) 基礎データの活用 05. 研究内容についての議論(2) 先行文献の活用 06. 研究内容についての議論(3) 論文の批評を通して 07. 研究内容についての議論(4) 先行研究と仮説 08. 調査の実施(1) プレテスト及び、実施手順 09. 調査の実施(2) 実施における留意点 10. 調査の実施(3) 実施の課題点の検討 11. 調査結果の分析(1) 分析の実施 12. 調査結果の分析(2) 結果の概要 13. 調査結果の分析(3) 仮説と結果から 14. 調査結果の分析(4) 結果から研究計画スケジュールの再検討 15. まとめ			演習	山口
教科書 1	研究テーマに応じてプリントを配布する						
教科書 2							
参考書 1	研究テーマに応じて指示する。						
参考書 2							



授業科目名	社会学研究演習Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ 本演習のテーマはいうまでもなく「修士論文の執筆」である。論文というものは一気呵成に書けるものではない。小さなテーマに分けて、少しずつ書いてゆき、最後にそれらを組み合わせると一本の論文とする。それが初心者の論文執筆スタイルである。</p> <p>到達目標 この演習では毎週、院生が書いた論文を読み上げ、それについて教員と一文一文吟味し、議論しながら修正してゆく。最終的に論文の全体が明らかになるところまで書きあげる。この科目は中学公民と高校地歴の専修免許を取得するための必修科目である。</p>						
概要	修士論文の執筆と内容の検討						
評価方法	試験(100%)によって評価する。試験結果は公表し、なぜそのような評価になったかを説明するので、納得がいかない場合は申し出ること。						
履修条件・注意事項	場合によっては夏季休暇中、春季休暇中もゼミを続ける。論文を執筆しつつ、同時に毎週1冊以上の読書を課す。修士論文と関連する部分を取り上げ、批判的検討を加える作業をする。演習中に指摘された修正箇所は次回までに必ず修正しておくようにすること。						
自己学習	毎回4時間以上かけて準備をすること。学期期間中、毎回2時間の予習と2時間の復習をすること。提出した課題は評価して返却するので必ず復習すること。						
オフィスアワー	火曜4限(15:10～16:40)に研究室(9309)にて実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.研究テーマ確認 2.学生による情報収集リスト報告 3.学生による情報収集結果報告 4.学生による収集情報分析 5.情報のカテゴリー化 6.カテゴリーの名称化・関連づけ 7.カテゴリーの並べ替え・一本化 8.文章化・批判的検討 9.文章家・批判的検討 10.序論の検討(目的と意義) 11.第1章(先行研究)の検討 12.第2章(データ分析)の検討 13.第3章(分析と考察) 14.結論(今後の課題) 15.定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂					
教科書 1	質的分析法 著者: 佐藤郁也 出版社: 新曜社 ISBN: 978-4788510915						
教科書 2	論文の書き方 著者: 戸田山 和久 出版社: NHK出版 ISBN: 978-4140911945						
参考書 1	適宜指示する。目安は半年で10冊を読破すること。						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅲ				履修期	2020年度 春学期	
担当者	天岡 寛					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)				年次	2	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:研究調査の分析と整理ー研究成果の整理ー</p> <p>到達目標:研究の枠組みや仮説に則って進めてきた調査や文献研究の成果を分析検討し、具体的に論文において表明できるように整理していく事を目標とする。関係する文献や情報、資料、データ等の入手に積極的に取り組む。また、その他の受講学生の研究にも積極的な関心を持ち、テーマが異なる場合でも共通する諸課題に対する論点や、考察のための論理的思考を身につけることができる。</p>						
概要	<p>研究が主として調査による場合は、その結果の検討から論文に反映できる内容の整理をし、また必要に応じて追跡調査の内容や実施を明確化していく。調査結果や文献研究からの考察点による論文の構成概要を固め、その具体的な記述を進めていく。実際には、調査の結果データをグラフや表の形態にまとめたり、文献からの検討や引用を自分なりの考察と絡めながら、言語化させて明記していく。この研究の取組の中で、関連するテーマは当然ながら、他の受講学生の研究にも関心を高め、論文作成のためのロジックの整合性の習得のため、発表や質疑応答の経験を積んでいく。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、研究実績のある者が担当する。研究活動の経験から、研究活動の進め方や課題、それを解決するために必要とされる知識や能力について講義し、理解を深める。</p>						
評価方法	<p>どのような研究でも、受講学生の研究への主体性が要である。実際の研究活動へ臨む姿勢(調査手順の進め方)やテーマを掘り下げていく姿勢及び研究指導に対する姿勢(30%)、質疑応答における発言状況(30%)、研究進捗状況に応じた提出物の内容(40%)から、総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>研究は他の誰のためにするものでもない。自らが探求的に研究の進展を推し進め、積極的に各種文献や資料を読み込み、調べ、問い、聴き、考え、書く等の作業に絶え間ない努力をすること。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。</p>						
自己学習	<p>毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要な資料を探し、熟読してくること。また、研究テーマにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと(各2時間程度)。</p>						
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室(9407)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 調査結果分析から追跡調査等の検討	演習	天岡					
2. 研究計画内容、仮説の再検討	演習	天岡					
3. 関係する文献からの検討(1)調査結果と先行研究	演習	天岡					
4. 関係する文献からの検討(2)引用表現の工夫	演習	天岡					
5. 関係する文献からの検討(3)論点の議論	演習	天岡					
6. 関係する文献からの検討(4)引用文献の挿入	演習	天岡					
7. 調査結果の活用	演習	天岡					
8. データ処理方法について(1)質的研究	演習	天岡					
9. データ処理方法について(2)量的研究	演習	天岡					
10. 報告・発表の準備(1)パワーポイントの作成方法	演習	天岡					
11. 報告・発表の準備(2)論文構成の課題	演習	天岡					
12. 報告・発表の準備(3)要旨のまとめ方	演習	天岡					
13. 仮説と問いの組み方(1)	演習	天岡					
14. 考察と結論の検討	演習	天岡					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	姜 明求					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	2		
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「修士論文の完成と論文の書き方の理解」がテーマである。到達目標は、質の高い修士論文の作成に取り組む。修士論文の研究を行うために必要な文献、資料の収集、先行研究の精査・分析の方法、文章のまとめ方、発表のノウハウ、論理的思考力、コミュニケーション能力などの養成を目標にする。						
概要	指導教授の指導のもとに、研究論文のテーマについての研究を進める。関連文献・統計資料などの集め方、読み方、まとめ方、とくに他の論文からの引用の仕方については、具体的に指導を受ける。その成果を大学院社会学研究科修士論文中間発表会(2年次生)において発表する。この科目は専修免許修得のための必須科目である(中学校社会と高校公民・地理歴史)。						
評価方法	プレゼンテーション、発表内容と討論への姿勢(40%)、研究の進捗度・試験(60%)によって総合的に評価。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	経営学に関する文献を数多く購読すること。大学院は少人数の授業であるので、常に問題意識を持つと共に、しっかり予習をし、出席して積極的な姿勢で討論に参加すること。また、授業の理解度を高めるために復習すること。指導教授とよく連絡をとること。メール、携帯電話、私語、無断退室、無断欠席は厳禁。1年次における社会学研究演習Ⅰ・Ⅱ(各2単位)、2年次における社会学研究演習Ⅲ・Ⅳ(各2単位)の合計8単位は必須である。						
自己学習	毎回討論に参加するために予習の徹底(毎回2時間)と講義後に復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション		講義	姜				
2.各自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告		演習	姜				
3.自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告		演習	姜				
4.自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告		演習	姜				
5.資料の収集とまとめ方の指導		演習	姜				
6.資料の収集とまとめ方の指導		演習	姜				
7.研究テーマに合わせた文献の紹介と報告		演習	姜				
8.文献の発表と討論		演習	姜				
9.文献の発表と討論		演習	姜				
10.文献の発表と討論		演習	姜				
11.研究テーマに合わせた文献の紹介と報告		演習	姜				
12.研究テーマに合わせた文献の紹介と報告		演習	姜				
13.文献の発表と討論		演習	姜				
14.文献の発表と討論		演習	姜				
15.試験		試験	姜				
教科書 1	研究テーマに応じて、予習ができるように講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
教科書 2							
参考書 1	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方 著者:新堀 聡 出版社:同文館						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅲ				履修期	2020年度 春学期	
担当者	高橋 正巳					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)				年次	2	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマは「論文執筆に向けた資料収集と調査方法」 修士論文の具体的な執筆に向ける時期なので、ここでのテーマは、「学生の研究テーマ」の確認と同時に、いよいよ修論執筆のスケジュール→文献資料収集(実験、実地調査、アンケート調査など)→先行研究の調査→独創的考えの吟味→議論の骨組み・素案(構想力)→発表・議論→推敲・執筆の作業を、本格的に反復し着実に準備を進めることである。この作業を通して、修論の専門性、テーマや視点の独自性に一定水準以上のものが加わることになる。もちろん、実験観察や実地調査、あるいはアンケート調査が必要な場合においても、資料やデータを整理し分析する力を身に付けること、そして先行研究などに照らし合わせて解釈力や評価力を高めることを到達目標とする。また、この演習の受講生は専修免許を取得することが可能である。</p>						
概要	<p>日本人学生にしろ留学生にしろ、自分の経験や思考、あるいはアイデアから選び出した研究テーマを、他者に向けて「なるほど」と思わせる文章に書き上げなければならない。それには、その内容を簡潔で論理的にまとめなければならない。この時、研究テーマを一つのテーマに絞り込み、焦点から脱線しないよう論じなければならない。そこで、ここでは、文献資料だけなのか、実験観察や実地調査が必要なのか、アンケート調査を実施するのか、あるいは先行研究にはどんな人がどんな内容の議論を展開しているのかなど、こうした準備作業を話し合いながら進めたい。</p>						
評価方法	<p>自分の研究テーマに合わせてながら、相談や報告、あるいは連絡をしっかりとすること。もちろん演習に参加しながら自分の関心を中心に文献資料を整理したレジュメでもって発表することが欠かせない。評価のために課した小テスト等はフィードバックするので、試験までに復習すること。講義への参加状況を40点、読書レポート(レジュメ)および報告に60点として、これを総合的に評価する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>自分の研究テーマに則して議論するためにも、文献資料を収集しそれを理解するためにも、まずどの学生も日本語で書かれた専門用語をマスターする必要がある。それには、まず予習・復習を徹底すること。また、留学生は日本語能力検定試験N1の取得で安心するのではなく、日本語の勉強をしてレベルの向上を図ること。さらに、いずれの学生も、一般教養や時事問題を大切にすると同時に、自分の研究に向けた専門書を熟読し、その内容を整理し発表することが欠かせない。</p>						
自己学習	<p>前もって講読する書籍や資料を、学生と相談の上で決定するので、応答や質疑が可能なように、書籍や資料に目を通してノートに整理しておくこと。また、新聞やテレビのニュースを読んだり聞いたりしておくこと。講義の資料を参考に予習2時間と講義終了後には復習2時間をやること。</p>						
オフィスワ-	火曜日 昼休みと2時限目(1258研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション(反省と今後) 2. 研究テーマの文献と内容整理 3. 先行研究の探索 4. 研究テーマの文献資料と一覧 5. 研究テーマと先行研究とを発表 6. キー概念の再整理 7. キー概念の図式的な体系化 8. 修論の目次と論理的な展開 9. 修論構想に向けた準備発表 10. 修論に向けた図式や表の作成 11. 修論の論理展開の整理 12. 修論に向けた論文の書き方 13. 修論構想に則した文章化 14. 章立ての発表と質疑応答 15. 定期末試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋					
教科書 1	必要に応じて随時指定。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	竹内 研					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	『人間の思考・感情・行為、及び人間関係や対人行動』などをテーマとし、脳科学や認知科学などの学問分野の著しい進歩によって、その理論は大きく変化しつつある。これを基盤として、自身の行動変容や、他者への働きかけ(教育や指導など)の方法論は、新たに開発・展開を見せている。 これまでの教育システムや指導ノウハウのパラダイムは、大いなる転換の時期にさしかかっている。 解明されてきた人間の脳機能について、新しい理解を持つことができるようになる。そして、自分自身への働きかけ、さらに他者への働きかけの、具体的なメソッドを習得することを到達目標とする。						
概要	これまで、スポーツの領域ではメンタルトレーニングなどと称され、さらにはスポーツ領域を超えて、社会における諸種の領域にまでその応用が拡大してきた、教育プログラムの数々は、その理論的基盤は、行動主義などの既存の心理学的パラダイムである。ここに、脳科学や認知科学などの成果を導入した、新たなパラダイムを理解する。その理論枠組みごとに、実際に見られる人間の行動様式や、社会現象などを取り上げて、それらの説明を試みる。 さらに、自己変革および他者変革の実際の働きかけの技術を習得する。						
評価方法	理論枠組みの理解50%、働きかけの技術の取得50%、にて評価を行う。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	毎時の授業において、文献が提示される。その文献を抄読してくる。さらに、働きかけの技術に関しては、授業後実践し、その報告を提出する。						
自己学習	毎回の授業に際して、事前に関連の論文を検索し抄読すること。 授業時にその内容について報告し、授業後はその論文の概要を資料としてまとめること。 必ず予習復習を、それぞれ約2時間ずつ行うこと。						
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室(6330)にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
(1)オリエンテーション		演習	竹内				
(2)RASとスコトーマ		演習	竹内				
(3)情動記憶		演習	竹内				
(4)自己イメージと過小評価		演習	竹内				
(5)コンフォートゾーン		演習	竹内				
(6)パフォーマンスとコンフォートゾーン		演習	竹内				
(7)情報空間の恒常性維持機能とセルフレギュレーション		演習	竹内				
(8)セルフトーク		演習	竹内				
(9)自己イメージとセルフトークコントロール		演習	竹内				
(10)セルフエフィカシー		演習	竹内				
(11)ゴールの設定		演習	竹内				
(12)創造的無意識		演習	竹内				
(13)ゴールのリアリティ		演習	竹内				
(14)ビジュアライゼーションとアフターメーション		演習	竹内				
(15)アフターメーションの実行		演習	竹内				
教科書 1	コンフォートゾーンの作り方 著者: 苔米地英人 出版社: フォレスト出版						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 修士論文完成のための調査研究          到達目標: それぞれのテーマで研究を進展させ、研究者として自立できる能力を修得する。          在学中に修士論文を完成させることをめざし、指導教授を中心に、社会学研究演習1から4に至るステップが設定されている。</p> <p>第2年次においては、内外の関連文献を読み進め、文献資料・統計資料を可能な限り収集・分析して、必要に応じて、事例調査やフィールドワークなどを行う。専門分野における資料の探し方、文献・資料の読み方、社会調査の企画とデザイン、研究目的に合わせたデータ解析の方法などについて、具体的に指導をうける。研究課題が絞られていく過程において、場合によっては、研究の方向性を修正する必要も生じることがある。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、外部との研究交流をはかることにも引き続いて努力する。</p>						
概要	1年次で完成させた研究計画をもとに、先行研究の批判的読解を深める。 この演習の受講生は専修免許を取得することが可能である。						
評価方法	授業への参加状況(20%), 2回の中間レポート(40%), 最終試験(プレゼンテーションおよびレポート 40%)によって評価する。なお、評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。						
履修条件・注意事項	社会学研究演習1から社会学研究4は必修である。予習・準備を確実に行ってから授業に参加し、授業後の復習によって理解を徹底させること。						
自己学習	毎回授業で予習(30時間)と復習(30時間)をするための課題を指示する。						
オフィスワ-	12:45-13:30 Tuesdays (in classroom)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 授業の概要の説明 2. 先行研究とは 3. 先行研究の検索 4. 先行研究の読解 5. 先行研究への批判的視座 6. 先行研究についての論考 7. 中間まとめ 8. 研究情報の収集 9. 研究情報の検索 10. 研究情報のファイリング 11. 資料の読解 12. 資料の解釈 13. 資料の比較検討 14. 資料に基づく考察、総括討論 15. 最終試験	exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises test	Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö					
教科書 1	How to Write a Master's Thesis 著者: Bui, Yvonne N. 出版社: Sage Inc. ISBN: 978-1452203515						
教科書 2							
参考書 1	How to Write a Research Proposal and Thesis 著者: Hamid, Mohamed E. 出版社: Createspace Independent Publishing Platform ISBN: 978-1482675054						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	山口 英峰					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	研究論文の完成にむけた研究成果を精査することをテーマとする。研究の枠組みや仮説に則って進めてきた、実験データ、調査活動や文献研究の成果を分析検討し、具体的に論文において表明できるように整理していく事を到達目標とする。関係する文献や情報、資料、データ等の入手に積極的に取り組む。学生は、その他の受講生の研究にも積極的な関心を持ち、テーマが異なる場合でも共通する諸課題に対する論点や、考察のための論理的思考を身につけることができる。						
概要	研究が主として調査による場合は、その結果の検討から論文に反映できる内容の整理をし、また必要に応じて追跡調査の内容や実施を明確化していく。調査結果や文献研究からの考察点による論文の構成概要を固め、その具体的な記述を進めていく。実際には、調査の結果データをグラフや表の形態にまとめたり、文献からの検討や引用を自分なりの考察と絡めながら、言語化させて明記していく。この研究の取組の中で、関連するテーマは当然ながら、他の受講生の研究にも関心を高め、論文作成のためのロジックの整合性の習得のため、発表や質疑応答の経験を積んでいく。						
評価方法	どのような研究でも、受講生の研究への主体性が要である。実際の研究活動へ臨む姿勢(調査手順の進め方)やテーマを掘り下げていく姿勢及び研究指導に対する姿勢(30%)、質疑応答における発言状況(30%)、研究進捗状況に応じた提出物の内容(40%)から、総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。						
履修条件・注意事項	研究は他の誰のためにするものでもない。自らが探求的に研究の進展を推し進め、積極的に各種文献や資料を読み込み、調べ、問い、聴き、考え、書く等の作業に絶え間ない努力をすること。						
自己学習	本講義は予習復習が各2時間程度必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
01. 実験・調査結果分析から追跡実験・調査等の検討	演習	山口					
02. 研究計画内容、仮説の再検討	演習	山口					
03. 関係する文献からの検討(1) 研究結果と先行研究	演習	山口					
04. 関係する文献からの検討(2) 引用表現の工夫	演習	山口					
05. 関係する文献からの検討(3) 論点の議論	演習	山口					
06. 関係する文献からの検討(4) 引用文献の挿入	演習	山口					
07. 実験結果、調査結果の活用	演習	山口					
08. データ処理方法について(1) 質的研究	演習	山口					
09. データ処理方法について(2) 量的研究	演習	山口					
10. 報告・発表の準備(1) パワーポイントの作成方法	演習	山口					
11. 報告・発表の準備(2) 論文構成の課題	演習	山口					
12. 報告・発表の準備(3) 要旨のまとめ方	演習	山口					
13. 仮説と問いの組み方(1)	演習	山口					
14. 考察と結論の検討	演習	山口					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	李 分一					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>本研究の演習は、「東アジアの中の日本」というテーマの中で、グローバルとリージョナル、そしてナショナルな視点に立った総合的な研究を行う。</p> <p>この演習の到達目標は、日本と東アジアの過去と現在、そして将来の姿を総合的に理解させるところにある。今後の日本は、グローバル化とリージョナル化の狭間で、どれだけの範囲で、どの程度までに東アジアにかかわってゆくのか。こうした問題意識の下で、近年における日本と東アジアの関わりを様々な領域や分野からアプローチして行く。</p> <p>なお、院生の学位論文(「修士」)についても、きめ細かく指導しつつ、完成を目指すことになる。</p>						
概要	<p>指導教授および副指導教授の指導のもとに、学位論文(「修士」)の作成を進める上で必要な指導を行う。各自の研究領域を確実に確保し、論文テーマを設定する。それについての専門的な文献を読みこなし、論文作成を始める。こうした一連の作業目標は、学位論文の完成にある。</p> <p>ちなみに、この演習を受講すれば、教員の専修免許(中学社会・高校公民・高校地理歴史)が取得可能になる。</p>						
評価方法	定義試験(60%)とレポート(40%)によって評価する。レポートは授業中にフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	<p>(1) 各自のテーマに真面目に、丁寧に、しっかり取り込んでいくこと。</p> <p>(2) 演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。</p> <p>(3) 口頭試験を行うので、必ず受けることが必要である。</p>						
自己学習	<p>(1) 参加型演習であるために、事前課題を調べた上で参加すべきである。</p> <p>(2) 予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。</p>						
オフィスアワー	水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.グローバル化とアジアの現実 3.現代のグローバリゼーション 4.世界化とアジアの地域化 5.世界化と国際関係の変容 6.世界化の中の東アジア 7.東アジア安全保障共同体 8.東アジアの投資論 9.東アジアの貿易論 10.東アジアの階層化 11.世界化と日本 12.世界化と中国 13.世界化と韓国 14.世界化とASEAN 15.口頭試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李				
教科書 1	1週間前に文献および資料は示す。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅳ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:修士論文執筆          本演習のテーマは「修士論文の執筆」である。論文というものは一気呵成に書けるものではない。小さなテーマに分けて、少しずつ書いてゆき、最後にそれらを組み合わせるとして一本の論文とする。それが初心者の論文執筆スタイルである。</p> <p>到達目標          この演習では毎週、院生が書いた論文を吟味し、それについて教員と議論しながら文章を修正してゆく。修士論文を完成を目標とするが、できれば同時に研究成果を学術論文集に投稿するのが望ましい。この科目は中学公民と高校地歴の専修免許を取得するための必修科目である。</p>						
概要	ゼミ学生のテーマに合わせて毎回執筆した論文の検討と指導をする。						
評価方法	試験(100%)によって評価する。小テストや小論文は採点して返却するので必ず復習すること。						
履修条件・注意事項	特にないが、場合によって夏休み期間中もゼミを行うことがある。						
自己学習	演習に参加するための準備をしてこること。毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に研究室(9039)にて実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.修論テーマの再確認 2.論文執筆モデルのプレゼン 3.論文の検討:序論・目的・意義 4.論文の検討:背景・方法 5.論文の検討:データの妥当性 6.論文の検討:データ分析 7.論文の検討:仮説検証 8.論文の検討:結果と考察 9.中間報告プレゼン 10.論文の検討:論理的整合性 11.論文の推敲:形式・用語 12.論文の推敲:総合考察 14.論文投稿の検討 15.審査会プレゼンの準備 16.定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂		
教科書 1	これから論文を書く若者のために 著者: 酒井 聡樹 出版社: 共立出版 ISBN: 978-4320005716						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅳ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	天岡 寛					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:研究論文の完成と研究課題の総括ー研究成果と課題ー</p> <p>到達目標:研究方法のルールに従い、論文をまとめあげることを通して、研究のオリジナリティと実証的な成果を明示することを目指す。論文作成にあたっては、各研究方法に基づく十分な検討を実施し、結論づけていく能力を向上させることが目標である。また、どのような研究も、探求においては困難さや課題点が伴うため、その研究の限界や、残された課題点についても議論を重ね、今後の研究活動の見通しを立てることができる。</p>						
概要	<p>受講学生の研究テーマに沿いながら、研究方法を検討し、その手法を学んでいく。また、研究テーマに即した領域の文献、先行研究の内容を理解しながら、着眼点を掘り下げ、議論していく。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、研究実績のある者が担当する。研究活動の経験から、研究活動の進め方や課題、それを解決するために必要とされる知識や能力について講義し、理解を深める。</p>						
評価方法	<p>どのような研究でも、受講学生の研究への主体性が要である。実際の研究活動へ臨む姿勢(調査手順の進め方)やテーマを掘り下げていく姿勢及び研究指導に対する姿勢(30%)、質疑応答における発言状況(30%)、研究進捗状況に応じた提出物の内容(40%)から、総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>研究は他の誰のためにするものでもない。自らが探求的に研究の進展を推し進め、積極的に各種文献や資料を読み込み、調べ、問い、聴き、考え、書く等の作業に絶え間ない努力をすること。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。</p>						
自己学習	<p>毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要な資料を探し、熟読してくること。また、研究テーマにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと(各2時間程度)。</p>						
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室(9407)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 研究結果の検討と論文作成(1) 目的・方法・仮説	演習	天岡					
2. 研究結果の検討と論文作成(2) 結果・結論	演習	天岡					
3. 研究結果の検討と論文作成(3) 全体の流れ	演習	天岡					
4. 論文内容の考察に関する質疑応答(1) 考察のための論述	演習	天岡					
5. 論文内容の考察に関する質疑応答(2) 考察からのオリジナリティの検討	演習	天岡					
6. 論文内容の考察に関する質疑応答(3) 研究の限界と課題点	演習	天岡					
7. 論文の記述内容の修正と質疑応答(1) 論文内容の修正	演習	天岡					
8. 論文の記述内容の修正と質疑応答(2) 引用、注記の修正	演習	天岡					
9. 論文の記述内容の修正と質疑応答(3) データ類の表記の修正	演習	天岡					
10. 報告・発表などの準備(1) 要旨作成	演習	天岡					
11. 報告・発表などの準備(2) パワーポイントの作成	演習	天岡					
12. 報告・発表などの準備(3) プレ発表	演習	天岡					
13. 報告・発表などの準備(4) ポイントの検討	演習	天岡					
14. 研究全体の内容の見直し・修正(1) 質疑応答内容の活用	演習	天岡					
15. 研究全体の内容の見直し・修正(2) 誤字等文章全体の修正	演習	天岡					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							



授業科目名	社会学研究演習Ⅳ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	高橋 正巳					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマは「研究テーマに則した論の進め方」について。半期だけを残す時期だが、修士論文の執筆とその完成が到達目標である。この意味で、これまでと同じように考えているだけでは限界がある。ここで必要なのは、論文の文章が結論に向かって、徐々に論理的な筋道となっていないといけない。それには、これまでやってきた作業をチェックしながら、修論執筆のスケジュールを明確化することである。そして、修論は「他人に読んでもらう文章」であることを自覚し、自分で読んで自己満足するのではなく、自己の見解や論理にも批判力を養い身に付けること。これまで、修論執筆のスケジュール→文献資料収集(実験、実地調査、アンケート調査など)→先行研究の調査など、これらは段階的に終了させてはいるが、論文執筆に向けて図式化・図解化なども含めて、これらに修正を加えながらレベルアップを図ることである。それにはレジメを作成しながら整理し、それを発表しつつ修論として論理的な文章が執筆できれば到達目標の修了となる。また、この演習の受講生は専修免許を取得することが可能である。</p>						
概要	<p>修論は、自分の研究テーマに沿った内容を簡潔で論理的にまとめなければならないのであるから、諸君の問題意識にあわせ、テーマに沿って論理的な展開をする文章となる必要がある。この意味で修論は、一般的に、①研究の動機(問題意識)や意義・重要性、②テーマに関する先行研究や歴史、③分析(仮説を立て検証するステップの連鎖、時間の進行や地域・領域などによる推敲)、④結論、⑤参照文献・注釈から順に構成される必要がある。また、文章でもって関心を明確化するので、「～と思われる」「～であろう」のような推測を含んだ表現を多用しないことが必要となる。そして、主張の根拠を明確に示すこと。接続詞や修辞表現も多用しないこと。また実験や調査から得た事実と、それに関する考察や評価を明確に区別しておくこと。文献からの引用は出典を明らかにし、またその記載は決められたルールに従うことなど、これらを徐々に身に付けながら、実際に文章化を一緒にやり合い話し合いながら演習を進める。</p>						
評価方法	<p>修士論文は修士論文審査会で合格することが、評価の第一の要件である。それには、修士論文が主査だけではなく副査を含めて、論理的に説得する論文となっていないといけない。評価のために課した小テスト等はフィードバックするので、試験までに復習すること。この作業の進め方や、仲間の発表を聞き質問をすることを、総合して修士論文の完成で評価する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>自分の研究テーマの論文執筆であることから、とかく演習仲間の研究に関心を向けることが少なくなる可能性がある。だが、仲間の研究の進め方は、大いに参考になるし、仲間との質疑応答は自分の研究にとって大変に役立つ。また、自分の論文を整理するために、その内容を整理し発表することが必要である。学生は相談や話し合い、そしてレジメを作成しながらの演習となる。</p>						
自己学習	<p>前もって講読する書籍や資料を、学生と相談の上で決定するので、応答や質疑が可能ないように、書籍や資料に目を通してノートに整理しておくこと。また、新聞を読んだりテレビのニュースを見たりして、それらの中で関心のあるものをノートに整理すること。講義の資料を参考に予習2時間と講義終了後には復習2時間をやること。</p>						
オフィスワ-	火曜日 昼休みと2時限目(1258研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション(報告と今後)</li> <li>2. 修論構想に向けた準備発表</li> <li>3. 参考文献や資料の整理</li> <li>4. 先行研究の比較検討</li> <li>5. キー概念の整理</li> <li>6. 中間報告と討議・討論</li> <li>7. 章立てに基づく文章化の準備</li> <li>8. 註および参考文献のチェック</li> <li>9. 論文構想の反省と検討</li> <li>10. 文章化と表現のチェック</li> <li>11. ビジュアル化とプレゼン</li> <li>12. 論理と表現と整合性</li> <li>13. 準備発表と質疑応答</li> <li>14. 文章調整</li> <li>15. 審査会に向けた発表</li> <li>16. 質疑応答</li> </ol>			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋
教科書 1	必要に応じて随時指定する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会学研究演習Ⅳ				履修期	2020年度 秋学期		
担当者	竹内 研					NO.		
配当学科	社会学研究科(修士)				年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	「個人はもとより、集団や社会における行為』をテーマとし、その結果としての現象それらのインフラとして身体を位置づけ意味づけし、身体のありかたから、個人・集団・社会を読み解くことができるようになる。従来の身体資源を生物学的に捉えるのみならず、身体の構造・機能の有様をより詳細に解明しつつ、そこに人間存在の特性といえる意識の働きを付加して、理解できるようになることを到達目標とする。							
概要	これまでの身体について考察を行う際には、生物学的な視点が主であった。具体レベルでは、この視点によって、個々の身体の機能・状態の把握は進んできた。しかし、主体としての人間の身体を高次に捉え、なおかつ個々の人間間に始まり、集団から社会に至る関係との連環において、身体を意味づけるにおいては、身体論の視点を要する。本演習では、これまでの身体を持つ意味や機能について、事例や実際の現象を題材に、理解を深めることができる。さらに、以上を止揚する身体に関する体系的な理論を、実際の動きの解説と共に、把握できるようになる。							
評価方法	厳密科学的な身体論の理解(30%)、人間学的な身体論の理解(30%)、運動科学的身体論の理解(40%)で評価。評価のために課したレポート等は、授業時にフィードバックを行う。							
履修条件・注意事項	各回の授業で提示する文献を講読して、次の授業時に内容について発表する。							
自己学習	毎回の授業に際して、事前に関連の論文を検索し抄読することを2時間、授業後にその論文を資料としてまとめ自己の考察を加えること2時間を行うこと。							
オフィスアワー	金曜日3限 個人研究室(6330)にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			(1)オリエンテーション (2)身体の捉えかたの歴史的概説 (3)東洋的身体論に関する文献抄読 (4)東洋的身体論の実例を検証 (5)現代における東洋的身体論の価値 (6)心身二元論の概説 (7)自然科学的身体分析に関する文献抄読 (8)スポーツ界に見る自然科学的身体分析の実証 (9)人間関係、社会現象に関わる自然科学的身体分析 (10)アンチテーゼとしての身体論に関する文献抄読 (11)西欧社会における身体論の生起に関する考察 (12)社会に関わる身体論の実証 (13)これまでの身体分析を止揚する運動科学による身体の把握 (14)身体の運動科学的に捉えた動きの実証 (15)最終レポート			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 最終レポート	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内	
教科書 1	SPSSで学ぶ医療系データ解析 出版社:東京図書							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	社会学研究演習Ⅳ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 修士論文の執筆・推敲          到達目標: 修士論文を完成させる。          それぞれのテーマについて研究を深め、修士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、社会学研究演習1から4に至るステップが設定されている。第2年次においては、内外の関連文献を読み進め、文献資料・統計資料を可能な限り収集・分析して、研究課題の焦点を絞っていく。必要に応じて、事例調査やフィールドワークなどを試みる。専門分野における資料の探し方、文献・資料の読み方、社会調査の企画とデザイン、研究目的に合わせたデータ解析の方法などについて、具体的に指導を受ける。研究課題が絞られていく過程において、場合によっては、研究方向をやや転換させる必要が生まれるかもしれない。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、外部との研究交流をはかることにも引き続いて努力する。研究の成果は、年度内に作業論文としてまとめ、1月下旬に予定されている大学院社会学研究科発表会において報告し、コメントを得て論文の確定版を確定させる。</p>						
概要	<p>研究文献の精読、批判的読解の演習を中心とする。          この演習の受講生は専修免許を取得することが可能である。</p>						
評価方法	<p>授業参加での積極性(20%), 中間レポート(40%), 最終試験(レポートとプレゼンテーション 40%)によって評価する。なお、評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>社会学研究演習1から4は必修である。事前の予習をふまえて授業に参加し、事後は必ず復習し理解を徹底させること。</p>						
自己学習	<p>毎回授業で予習(30時間)と復習(30時間)をするための課題を指示する。</p>						
オフィスアワー	<p>12:45-13:30 Tuesdays (classroom)</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の概要説明</li> <li>2. 学術論文の検索</li> <li>3. 学術論文の収集</li> <li>4. 学術論文の読解</li> <li>5. 学術論文の解釈</li> <li>6. 学術論文についての論考</li> <li>7. 中間まとめ(中間レポート)</li> <li>8. 学術論文のレビュー執筆に向けて</li> <li>9. 学術論文のレビューの目的</li> <li>10. 学術論文の批判的読解</li> <li>11. 学術論文の筆者の視点を理解する</li> <li>12. 学術論文のレビューの意義</li> <li>13. 学術論文のレビューの役割</li> <li>14. 学術論文の論文執筆での活用</li> <li>15. 全体総括</li> <li>16. 最終試験</li> </ol>	<p>exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises test</p>	<p>Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö</p>		
教科書 1	<p>How to Write a Master's Thesis          著者: Bui, Yvonne E.          出版社: Sage Inc.          ISBN: 978-1452203515</p>						
教科書 2							
参考書 1	<p>How to Write a Research Proposal and Thesis: A Manual for Students and Researchers          著者: Hamid, Mohamed E.          出版社: Createspace Independent Publishing Platform          ISBN: 978-1482675054</p>						
参考書 2							





# *Syllabus*

## 社会学研究科 博士（後期）課程

吉備国際大学

授業科目名	比較社会学特殊研究 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	赤坂 真人				NO.		
配当学科	社会学研究科(博士前期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ 本年度の比較社会学特殊講義においては社会学理論に関する講義を行う。大学院であるので原典を参照しながら講義する。この講義は社会学の歴史を学び、かつ理論家たちがどのような問題をどのような方法で説明しようとしたかについて学ぶ。</p> <p>到達目標 学生は社会学の基礎理論の概要を理解することができるようになる。また何が社会学の研究対象であり、それをどのように分析するかがわかるようになる。</p>						
概要	<p>まず社会学という言葉を作ったオーギュスト・コント、その師であったサン＝シモンの産業主義からはじめ、共産主義の始祖カール・マルクス、そして資本主義社会の到来を別の視点から分析した社会科学の巨人マックス・ウェーバー、彼と対峙した社会学の巨人エミール・デュルケーム、ミクロ社会学の礎を築いたゲオルク・ジンメル。マルクス・ウェーバーを継承してイデオロギー問題を知識社会学の分野として確立したカール・マンハイム、社会学にシステム分析を導入し、社会システム論の先駆けとなったヴィルフレド・パレート。ウェーバー・デュルケーム、パレートを再解釈し行為理論を完成し、やがて社会システム理論を社会学のメインパラダイムにした、タルコット・パーソンズとロバート・マートン、パーソンズを批判し、ジンメルやハーバート・ミードを継承して象徴的相互作用主義を確立したハーバート・ブルーマー、行為の主観的意味を巡ってパーソンズと激しい論争を行った現象学的社会学の始祖アルフレッド・シュッツ、そして同じくミクロな立場から会話分析の手法に基づくエスノメソドロジーという理論を構築したハロルド・ガーフィンケルについて講義する。</p>						
評価方法	試験(100%)によって評価する。課題や小論文は評価して返却するので必ず復習すること。						
履修条件・注意事項	かなり抽象的で難解な講義である。順番に梗概を作成し、発表してもらうので担当者はテキストを読み、レジュメを作成すること。						
自己学習	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	火曜4限(15:10～16:40)に研究室(9309)にて実施する。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.サン＝シモン(産業主義) 2.コント(社会再構築のプラン) 3.カール・マルクス(唯物論) 4.ウェーバー(観念史観) 5.デュルケーム(社会学主義) 6.ジンメル(社会化の形式) 7.パレート(社会システム理論) 8.パーソンズ(構造-機能主義) 9.キング・マートン(機能分析) 10.G.H・ミード(役割と自己) 11.ブルーマ(象徴的相互作用) 12.シュッツ(現象学的社会学) 13.ハロルド・ガーフィンケル 14.ルーマン(複雑性の縮減) 15.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂				
教科書 1	現代の社会学者 著者： 富永健一 出版社： 講談社学術文庫 ISBN： 978-4061453793						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	比較社会学特殊研究Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期	
担当者	赤坂 真人				NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態 講義
テーマと到達目標	<p>テーマ すべての学問は問題から始まる。この講義では適切な問題を設定するために必要不可欠な社会学の理論的準拠枠組みを学習する。</p> <p>到達目標 これまで社会学理論の学習はマックス・ウェーバー、エミール・デュルケーム、カール・マルクスから始めるのが常であった。本講義ではこれらの古典的巨人にもふれるが、主にその後の展開、タルコット・パーソンズ/R.K.マートン(機能主義)、H.ブルーマー(象徴的相互作用主義)、K.マンハイム(知識社会学)、N.ルーマン(社会システム論)に焦点を定め教授する。この科目は中学公民と高校地歴の専修免許を取得するための必修科目である。</p>					
概要	<p>社会学は市民社会が成立してから始まった。社会が神の定めた因果律によって成り立っていると考えられている間は、社会学は存在しない。主権者である市民が構成する市民社会があって、その市民社会が独立変数となって従属変数である構成員の行動が決定されるというアイデアのもと社会学は成立する。この講義ではそれぞれの社会学の巨人がどのような因果関係を想定し、その検証に従事したかを解明してゆく。</p>					
評価方法	試験(100%)によって評価する。課題や小論文は採点して返却するので必ず復習すること。					
履修条件・注意事項	かなり抽象的な文献を読み、議論することになるので、十分予習すること。					
自己学習	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。					
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に研究室(9309)にて実施する。					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
			1.社会学の理論と方法 2.カール・マルクス 3.絶対的貧窮化の理論 4.マックス・ウェーバー 5.唯物史観と観念史観 6.支配の三類型と民主主義の陥穽 7.デュルケームと社会的事実 8.社会の統合と道徳・アミー 9.カールマンハイムと知識社会学 10.イデオロギーの相対化 11.タルコット・パーソンズ 12.行為理論 13.R.K.マートン・中範囲の理論 14.象徴的相互作用主義 15.ルーマンと社会システム理論 16.定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂	
教科書 1	社会学の方法 著者: 佐藤俊樹 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4623061242					
教科書 2						
参考書 1	社会的行為の構造 著者: タルコット・パーソンズ 出版社: 木鐸社 ISBN: 絶版					
参考書 2						

授業科目名	比較社会学特殊研究Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	李 分一					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>この研究のテーマは、「比較研究」とする。          比較研究は、ある社会現象の理解と説明の能力を高めるという点で「知の源泉(知識の客観化)」であり、様々な社会現象についての本質的探究と共に、その現象の特殊(特徴)性と普遍(一般)性を理解する上で、最も重要な方法である。          到達目標は、様々な比較の手法と視点、そして方法などの能力を向上させることにある。この講義を受講すれば、社会科学の本質と国際比較をも含む比較論の意味が理解できる。</p>						
概要	<p>この研究は、主に「国際比較」の方法論とその意義を行う。          国際比較とは、二国間または二国間以上の比較研究(類似した諸国・地域と対照的な諸国・地域の比較)と、ケース・スタディー(事例研究)がある。具体的な方法論には、実証分析としての計量的分析と記述的分析(質的分析)、そして規範論的な分析などがある。この研究では、如何に諸国を比較すれば良いのかを探って行きたい。</p>						
評価方法	定期試験(60%)と提出物(40%)によって評価する。提出物に対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	(1)講義後には、講義内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2)単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。						
自己学習	(1)参加型講義であるために、受講者は事前課題を調べた上で参加すべきである。講義は、この課題をめぐって討論形式で行う。 (2)受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。						
オフィスアワー	水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.なぜ比較するのか 2.知の源泉としての比較 3.社会的法則の探求 4.比較研究者の羅針盤 5.作業概念 6.理論的枠組み 7.機能的対応関係 8.分析範囲の国際化 9.国際比較の基本戦略 10.比較分析の領域区分 11.比較研究のケース・スタディー 12.二元比較 13.類似した諸国の比較 14.対照的な諸国の比較 15.定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李					
教科書 1	文献および資料は、随時示す。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	比較社会学特殊研究IV			履修期	2020年度 秋学期	
担当者	李 分一				NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態 講義
テーマと到達目標	この講義のテーマは、「日本と韓国社会の比較」である。 この講義の到達目標は、韓国と日本の政治、経済、社会を比較論に理解させるところにある。日韓関係の比較研究は、地理的隣接、共通の文化的・社会的要因(儒教、仏教、漢字、強硬な親族・村落構造など)の存在と、それにもかかわらず存在する差異という点で、比較研究上、非常に重要である。					
概要	まず、比較の方法と意義などを研究し、その後に日韓関係とその比較に必要な最新の資料およびテキストなどを購読しながら議論し合う。講義参加者の関心事に対応しながら、講義ならびに討議を行うことにする。					
評価方法	定期試験(60%)、提出物(40%)によって評価する。提出物は、授業中にフィードバックを行う。					
履修条件・注意事項	(1) 講義後には、講義内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。					
自己学習	(1) 参加型講義であるために、受講者は事前課題を調べた上で参加すべきである。講義は、この課題をめぐって討論式で行う。 (2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。					
オフィスアワー	水曜日4時限目(9304研究室)					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
			1.日本と韓国社会の組織と個人 2.日本社会の組織と個人 3.韓国社会の組織と個人 4.日韓両社会の組織と個人の比較 5.日本と韓国の家・家族の特徴 6.日本の家と親族 7.韓国の家と親族 8.日本と韓国社会の村落と個人 9.日本の村落構造と個人 10.韓国の村落構造と個人 11.日本と韓国の地域と宗教文化 12.日本の地域社会と宗教 13.韓国の地域社会と宗教 14.日本社会の変容 15.韓国社会の変容 16.定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李	
教科書 1	文献および資料は、随時示す。					
教科書 2						
参考書 1						
参考書 2						

授業科目名	地域社会論特殊研究 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	高橋 正巳					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:現代のサービス社会経済システム 最近あちこちで、なぜか「サービス」を多く見聞きするようになったのだろうか、その原因や理由を講義する予定である。たとえば、情報サービス、支援サービス、介護サービス、医療サービス、福祉サービスなど、現代では「サービス」という言葉が使われても、一般に疑問を感じる人は少なくなったようだ。だが、かつて「サービス」という言葉が使われるならば、パーマ屋や床屋、スナックや居酒屋、あるいは商品に値段がつかない「おまけ」のような商売に使われて、利益の幅が大きい自動車やテレビ・洗濯機のようなたくさんのお金が動く産業のイメージではなかったからである。しかし、現在、「サービス」は社会経済のトップに躍り出てきたので、ビジネス活動する人にとっては必須である。この講義では、社会経済システムにとって欠かせない「サービス」を理解し、それを考えて今後の社会経済を構想する人になることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>もの(財)が売れない訳ではない。ただ、現代のように工場内にある機械でものを超スピードで生産する時代では、人々が必要としている以上に、たくさんをものをたちまち生産してしまう。それだけ急激にたくさんもの(財)が生産されるならば、そのもの(財)は一般には値段が安くなる。これをわれわれは大歓迎した。なるほど、多く人はそう考えるけれども、実際には必ずしもそうではない。もの(財)を生産して売っている会社から見れば、もの(財)を大量に売って利益を稼がなければならず、それができれば社員に給料さえ支払えない。ところが、人間が他の人を世話したり、生活を助けてやったりする「サービス」は、お金を支払わないどころか、最近ではどんどん料金が高くなっている。これは現在の社会経済が「サービス」へと移行してきたことの証である。ここではそうした動向を産業革命期から取り上げ、今や世界が「サービス」を大切に社会経済になってきたことを論じる。</p>						
評価方法	<p>講義への意見や態度に10点、読書レポート(レジュメ)および報告に60点、および試験に30点で、これを総合的に評価する。なお、評価のために課した小テスト等はフィードバックするので、試験までに復習すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>受講する学生と相談の上、文献などを決定するので、それを読んで整理しレポート(レジュメ)を作成して、これを講義内で報告し仲間と議論すること。専門書や資料などの整理や内容の吟味を含めて話し合うこと。また、受講する学生たちと相談の上、研究発表を兼ねることもある。</p>						
自己学習	<p>前もって講読する書籍や資料を、学生と相談の上で決定するので、質疑や応答が可能であるように、書籍や資料に目を通しノートに整理しておくこと。また、新聞を読んだりテレビのニュースを聞いたりし、それをまとめておくこと。講義の資料を参考に予習2時間と講義終了後には復習2時間をやること。</p>						
オフィス	火曜日 昼休みと4時限目(1258研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーリング 2. 「サービス」否定の産業革命 3. 現代の社会経済システム 4. デジタル情報の産業革命 5. 市場経済のグローバル化 6. 市場経済と国内経済 7. 工業経済と市場経済 8. 世界市場と国内の社会経済 9. 世界市場と非市場経済 10. 非市場経済と社会経済 11. 「価値サービス」と非市場経済 12. 非市場経済とサービス経済 13. 生きがいと日本のサービス 14. 企業文化とフィランソロピー 15. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋					
教科書 1	必要に応じて随時指定する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	地域社会論特殊研究Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	高橋 正巳					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	3.0	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:現代の社会経済システムと地域文化。現代の社会経済システムの限界を把握し、それを超克するには国家においても地域においても文化の理解が欠かせないものとなる。というのは、「サービス価値」を生み出すのは人間そのものの活動が生み出すからである。そこで、「人間とはどんな存在か」の背後ともいえる文化を東アジア(日本や中国)などの文化やそのもっている思想から把握しようと思う。日本を含めた東アジアの伝統文化が判ることが目標の一つだからである。というのも、文化には「人が人として目ざすべきもの」が組み込まれており、それこそが社会経済システムを形成する源泉でもあるからで、ここではとりわけ東アジアにおける地域社会がもつ伝統文化が、社会経済にどう反映しているのか、これを理解することが到達目標となる。</p>						
概要	<p>「人が人として目ざすべきもの」は、西欧キリスト教世界で問題にされた「人格」と同じ概念が東アジアにも存在したのだろうか。一般に取り上げられ、大学の教壇で論じられるのも欧米の概念である。だが、東アジア地域では欧米の思想基盤としての「人格」はない。それ故、経済発展のしなかった東アジアは未開として扱われた。だが経済発展を始めた日本や中国などは、「人格」の替わりに西洋近代の「個人」を歓迎して受け入れたが、しかし、それは東アジア人たちの文化的精神の空白を招くことになった。だが、近年の世界的な経済的な混迷、自然環境の悪化などの問題は、あらためて国や地域がもつ文化価値の問題を浮上させている。現代の社会経済システムの再建も、文化的精神の空白からではなく、やはりしっかりした文化を把握することで、独自の「サービス」をつくることからである。とりわけ東アジアは西欧とはまったく違った考え方を基礎に社会経済の形成してきた歴史がある。そこで、ここではそうした東アジアの伝統的な文化的精神と社会経済とのつながりを講義する。</p>						
評価方法	<p>講義において質問に答えたり思索してもらったりする日常的な参加態度に10点、課題テーマの小論文である「持ち帰り試験」に60点、そして期末の単位認定試験に30点で、これらを総合して評価する。単位認定試験は講義の最終日に実施するが、「持ち帰り試験」(400字×10枚以上)の小論文を提出しなければ、単位の認定はしないことがあるので要注意のこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>受講する学生と相談の上、文献などを決定するので、それを読んで整理しレポート(レジメ)を作成して、これを講義内で報告し仲間と議論すること。専門書や資料などの整理や内容の吟味を含めて話し合うこと。また、受講する学生たちと相談の上、研究発表を兼ねることもある。</p>						
自己学習	<p>前もって講読する書籍や資料を、学生と相談の上で決定するので、質疑や応答が可能であるように、書籍や資料に目を通しノートに整理しておくこと。また、新聞を読んだりテレビのニュースを聞いたりし、それをまとめておくこと。講義の資料を参考に予習2時間と講義終了後には復習2時間をやること。</p>						
オフィスワ-	火曜日 昼休みと4時限目(1258研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 産土の文化と社会経済</li> <li>3. 東アジアの風水社会と文化</li> <li>4. 道教の社会と文化</li> <li>5. 五行思想の文化社会</li> <li>6. 易経の人間と社会経済</li> <li>7. 東アジアの精神文化</li> <li>8. 東アジアの文化と社会経済</li> <li>9. 儒教的人間と社会組織</li> <li>10. わが国の儒教と社会組織</li> <li>11. 仏教の衆生と社会</li> <li>12. 日本における仏教文化</li> <li>13. 仏教における文化と社会</li> <li>14. 「身体」と「衆生」の社会経済</li> <li>15. 衆生救済の社会経済システム</li> <li>16. 単位認定試験</li> </ol>	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋		
教科書 1	必要に応じて随時指定する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	地域社会論特殊研究Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 国際関係論の理論研究 International Relations 1          到達目標: 博士課程レベルでの研究に必要な国際関係論の理論を修得する。          This course aims to enhance the understanding of the current development of theories and methodologies in International Relations. It will be expected that these theoretical frameworks could be of help for the social scientific studies at the doctoral level.</p>						
概要	<p>This course aims to provide practical and academic advice for each student. By paying respect to the individual research interest of each student, various approaches to global issues will be discussed in relation to the most recent development of theoretical frameworks in studies of International Relations. 受講生との双方向の討論を通じ、受講生の研究テーマに合致したテキストを選定し、その研究テーマが国際社会の動向とどのように関連しているかを考察・分析する。          Based on the interactive discussions, the instructor shall prepare for the assignments (both readings and writing assignments) so that the students' research will be advanced. The research themes of the students will be discussed and analysed in relation to developments of international community.</p>						
評価方法	<p>participation in class activities (30%),          mid-term reports (35%), and          final presentation (35%).          *The instructor will explain the details on preparation of reports and presentation in class.          評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>The instruction will be given in English. (この授業は英語で実施する) 受講に際しては、必ず授業内容についての予習・復習に          取り組み、疑問点は教員に確認すること。</p>						
自己学習	<p>受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を課す。          Preparation for class sessions (30 hours) and following-up studies (30 hours) after class sessions are required. At each class session home assignments will be delivered to students.</p>						
オフィスアワー	Tuesday 12:45-13:30 (classroom).						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. Introduction to this course		exercises	Merviö				
2. Methodology and methods		exercises	Merviö				
3. Debates on methodology		exercises	Merviö				
4. Methodology in your research		exercises	Merviö				
5. Approaches to methodology		exercises	Merviö				
6. Hermeneutics		exercises	Merviö				
7. Applying hermeneutics		exercises	Merviö				
8. Developing hermeneutics		exercises	Merviö				
9. Hermeneutics in IR research		exercises	Merviö				
10. Subjectivity and objectivity		exercises	Merviö				
11. Textual interpretations		exercises	Merviö				
12. Framework of research		exercises	Merviö				
13. Research presentation		exercises	Merviö				
14. Concluding discussion		exercises	Merviö				
15. Final test		test	Merviö				
教科書 1	<p>International Relations Theories: Discipline and Diversity          著者: Dunne, Tim et al. (eds)          出版社: Oxford University Press          ISBN: 978-0198707561</p>						
教科書 2							
参考書 1	<p>International Relations          著者: Lawson, Stephanie (ed)          出版社: Polity          ISBN: 978-1509508563</p>						
参考書 2							

授業科目名	地域社会論特殊研究IV			履修期	2020年度 秋学期	
担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス				NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態 演習
テーマと到達目標	Theme: Advanced course on International Relations Course goal: This course aims to enhance the understanding on the current development of theories and methodologies in International Relations. It will be expected that these theoretical frameworks could be of help for the social scientific studies at the doctoral level.					
概要	This course aims to provide practical and academic advice for each student. By paying respect to the individual research interest of each student, various approaches to global issues will be discussed in relation to the most recent development of theoretical frameworks in studies of International Relations. Based on the interactive discussions with students, the instructor shall prepare for the assignments (both readings and writing assignments) so that the students' research will well be advanced. The research themes of the students will be discussed and analysed in relation to developments of international community.					
評価方法	participation in class activities (30%), mid-term reports (35%), and final presentaiton (35%). *The instructor will explain the details on preparation of reports and presentation in class. なお、評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。					
履修条件・注意事項	The instruction will be given in English. (この授業は英語で実施する)受講に際しては、必ず授業内容についての予習・復習に 取り組み、疑問点は教員に確認すること。					
自己学習	毎回授業で予習(30時間)と復習(30時間)をするための課題を指示する。					
オフィスアワー	12:45-13:00 Tuesdays (classroom).					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
			1. Reflections on research 2. How to improve thesis work 3. Basic criteria of evaluation 4. Research methodology 5. Explaining and understanding 6. Hermeneutics 7. Mid-term discussion 8. Presentation of thesis work 9. Originality in your thesis work 10. References 11. Improving the thesis work 12. Presentation of individual work 13. Commenting on others work 14. Commenting on thesis work 15. Concluding discussion 16. Final test	exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises test	Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö	
教科書 1	International Relations Theories: Discipline and Diversity 著者: Dunne, Tim et al. (eds) 出版社: Oxford University Press ISBN: 978-0198707561					
教科書 2						
参考書 1	International Relations 著者: Lawson, Stephanie (ed) 出版社: Polity ISBN: 978-1509508563					
参考書 2						

授業科目名	産業社会論特殊研究 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	姜 明求					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「テーマは日本の経営の理解」である。到達目標は、単に、教科書をマスターするのではなく、自分なりの問題意識を持つとともにマネジメントの基本的な分析枠組みを理解することである。また、マネジメント及び経営理論、思想の変遷を体系的に理解するとともに、読解力の養成、文章のまとめる能力、コミュニケーション能力、それに基づいて企業の具体的な事例を分析できるようになることが目標である。						
概要	<p>本授業は、日本の経営に焦点をあて、考察するものである。1950年代、1960年代の日本の会社を研究し、その経営上の特徴をまとめた人がアベクルンである。日本の経営はアベクルンの「日本の経営」において終身雇用、年功序列などが日本企業の経営上の特徴として指摘されて以来、様々なアプローチから研究が行われてきた。</p> <p>欧米経済の不況の中、日本経済は世界経済の牽引車の役割を果たし、日本の経営を世界の多くの企業が手本とし、海外の研究者にも評価されるようになった。日本企業が成功を取めた1980年代は、日本の経営の注目が集まった時代であった。でもその後、バブル経済の崩壊以降、これまでのような日本の経営はそのまま持ち続けることが難しくなった。</p> <p>長引く不況の中で、多くの日本企業は業績不振に直面し、国際競争力を喪失した。世界に誇ってきた日本の経営の成功体験が色あせ、多くの日本企業に変化が求められたのである。日本企業の経営に関する研究内容に新たな視点からの分析が求められている。</p> <p>授業の概要は、50年後の日本の経営、再設計の10年、社会の高齢化、日本の経営、空前の嵐に見舞われた企業財務、研究開発という必須の課題などである。この授業では、日本の経営・変化の基本的な論点を学ぶ。</p> <p>また、本講義では、教科書を輪読してもらい内容を理解する。受講者は、各章毎に担当者が要約・問題提起のレジュメを作成して報告する。その後、報告に基づいて受講者全員で討論する。授業スケジュールについては、第1回授業時に説明する。テキストは変更可能である。</p>						
評価方法	プレゼンテーション、発表内容と討論への姿勢(40%)、単位認定試験(60%)によって総合的に評価。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業であるので、問題意識を持つと共に、しっかり予習をし、出席して積極的な姿勢で討論に参加すること。また、復習をすること。メール、携帯電話、私語、無断退室、無断欠席は厳禁。						
自己学習	毎回討論に参加するために予習の徹底(毎回2時間)と講義後に復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.50年後の日本の経営 3.再設計の10年 4.社会の高齢化 5.ケースの研究 6.日本の経営 7.ケースの研究 8.空前の嵐に見舞われた企業財務 9.研究開発という必須の課題 10.企業統治 11.ケースの研究 12.対日直接投資はほんとうに少ないのか 13.変化する国際環境 14.総合復習 15.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜					
教科書 1	新・日本の経営 著者:セ'ェムス・C・アベクルン著 出版社:日本経済新聞社						
教科書 2							
参考書 1	講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	産業社会論特殊研究Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	姜 明求					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「テーマは日本の経営の理解」である。到達目標は、単に、教科書をマスターするのではなく、自分なりの問題意識を持つとともにマネジメントの基本的な分析枠組みを理解することである。また、マネジメント及び経営理論、思想の変遷を体系的に理解するとともに、読解力の養成、文章のまとめる能力、コミュニケーション能力、それに基づいて企業の具体的な事例を分析できるようになることが目標である。						
概要	<p>本授業は、日本的経営に焦点をあて、考察するものである。1950年代、1960年代の日本の会社を研究し、その経営上の特徴をまとめた人がアベクルンである。日本的経営はアベクルンの「日本の経営」において終身雇用、年功序列などが日本企業の経営上の特徴として指摘されて以来、様々なアプローチから研究が行われてきた。</p> <p>欧米経済の不況の中、日本経済は世界経済の牽引車の役割を果たし、日本的経営を世界の多くの企業が手本とし、海外の研究者にも評価されるようになった。日本企業が成功を取めた1980年代は、日本的経営の注目が集まった時代であった。でもその後、バブル経済の崩壊以降、これまでのような日本的経営はそのまま持ち続けることが難しくなった。</p> <p>長引く不況の中で、多くの日本企業は業績不振に直面し、国際競争力を喪失した。世界に誇ってきた日本の経営の成功体験が色あせ、多くの日本企業に変化が求められたのである。日本企業の経営に関する研究内容に新たな視点からの分析が求められている。</p> <p>授業の概要は、50年後の日本の経営、再設計の10年、社会の高齢化、日本的経営、空前の嵐に見舞われた企業財務、研究開発という必須の課題などである。この授業では、日本的経営・変化の基本的な論点を学ぶ。</p> <p>また、本講義では、教科書を輪読してもらい内容を理解する。受講者は、各章毎に担当者が要約・問題提起のレジュメを作成して報告する。その後、報告に基づいて受講者全員で討論する。授業スケジュールについては、第1回授業時に説明する。テキストは変更可能である。</p>						
評価方法	プレゼンテーション、発表内容と討論への姿勢(40%)、単位認定試験(60%)によって総合的に評価。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業であるので、問題意識を持つと共に、しっかり予習をし、出席して積極的な姿勢で討論に参加すること。また、復習をすること。メール、携帯電話、私語、無断退室、無断欠席は厳禁。						
自己学習	毎回討論に参加するために予習の徹底(毎回2時間)と講義後に復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.50年後の日本の経営 3.再設計の10年 4.社会の高齢化 5.ケースの研究 6.日本の経営 7.ケースの研究 8.空前の嵐に見舞われた企業財務 9.研究開発という必須の課題 10.企業統治 11.ケースの研究 12.対日直接投資はほんとうに少ないのか 13.変化する国際環境 14.ケースの研究 15.総合復習 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜		
教科書 1	新・日本の経営 著者:セームス・C・アベクルン著 出版社:日本経済新聞社						
教科書 2							
参考書 1	講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	産業社会論特殊研究Ⅲ				履修期	2020年度 春学期		
担当者	山口 英峰					NO.		
配当学科	社会学研究科(博士後期)				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本講義のテーマは「労働と環境」である。労働条件や環境の違いが仕事効率や安全面に及ぼす影響を提示することにより、労働環境の重要性を理解することができる。労働者の環境のあり方について、様々な視点から考え、労働環境をより良くするための幅広い視野、考え方を身につけることを到達目標とする。							
概要	労働環境が産業効率化に及ぼす影響は計り知れない。様々な労働環境の現状を把握し、労働環境をより良くするための知識や改善方法について学ぶ。							
評価方法	講義中のレポート(70%)、討議への参加(30%)から総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。							
履修条件・注意事項	すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。教員はそれを最大限にサポートする。提出物の期限は厳守すること。							
自己学習	本講義は予習復習が2時間程度必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次の授業時に発表すること。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
01. オリエンテーション 02. 現代社会と労働環境 03. 労働環境と仕事効率 04. 労働と環境:労働と道具 05. 労働と環境:労働と衣服 06. 労働と環境:高齢化 07. 労働と環境:暑熱環境 08. 労働と環境:寒冷環境 09. 労働と環境:空気汚染 10. 労働と環境:夜間勤務 11. ジェットラグと環境適応 12. 概日リズムと環境適応 13. 週休と生活リズム 14. 職業病	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口						
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	産業社会論特殊研究IV				履修期	2020年度 秋学期	
担当者	山口 英峰					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本講義のテーマは「労働と健康」である。労働と健康との関係性について理解し、労働者における理想的な健康のあり方について様々な視点から考える。労働環境の改善が身体的および精神的な健康をもたらすことを理解することができる。労働者がより良く健康に働けるための環境づくりに対する幅広い視野をもち、改善方法を身につけることを到達目標とする。						
概要	労働環境が産業効率化に及ぼす影響は計り知れない。その前提として労働者の健康が確保されていることは必須である。労働環境の悪化は労働者の健康を損なう。労働者の健康の現状を把握し、労働者の健康の保持増進の方法について学ぶ。						
評価方法	講義中のレポート(70%)、討議への参加(30%)から総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。						
履修条件・注意事項	主体的な取り組みが必須である。教員はそれを最大限にサポートする。						
自己学習	本講義は予習復習が各2時間程度必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
01. オリエンテーション 02. 健康のとらえ方 03. 労働者の健康観 04. 労働と疾病 05. 労働者の疾病について 06. 労働と健康:身体的疲労 07. 労働と健康:精神的疲労 08. 労働と健康:ストレス 09. 労働と健康:休養(睡眠) 10. 労働と健康:運動不足 11. 労働と健康:食事 12. 労働と健康:生活リズム 13. 夜勤労働と概日リズム 14. 労働者の体力, 健康づくり 15. 労働者健康支援システム	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究指導 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ 新しい社会学の概念図式 社会学には物理学のようなミクロからマクロまで説明できる一般理論が存在しない。かつてタルコット・パーソンズが行為理論をもって社会学の一般理論を構築しようとしたが、一時的な大論争を引き起こしたものの、20世紀後半には終息してしまった。J.H.ターナーが行為では相互行為を基本とする一般理論を構築しようとしたが、その後継者は現れなかった。トマス・ファラロが数学的発想を持って社会学の分析的一般理論を構築しようとしたが呈示にはいたっていない。研究演習1では「社会学の一般分析的理論」の構築可能性を考える。</p> <p>到達目標 教理社会学者の発想に依拠しつつ「社会学の一般分析的理論」の構造を理解する。次に相互行為理論・社会情報学理論に依拠して社会学の「準拠枠組みまたは概念図式」の構築を試みる。これにより学生は社会学の理論構造が理解できるようになる。</p>						
概要	J.H.ターナーのA Theory of Social Interactionをテキストにして、相互行為を最小の構造的単位とする分析的理論を考える。同時に社会学の理論的フレームを再考し、社会学の理論とは何かについて考える。						
評価方法	試験(100%)によって評価する。課題や小論文はすべて採点して返却するので復習すること。						
履修条件・注意事項	特にないが社会学理論・理論社会学・社会学史・社会思想史などの知識がないと履修は難しい。						
自己学習	指定されたテキストは必ず読んでくること。毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に、研究室(9309)にて実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. Social Interaction. 2..Micro Dynamics. 3..Early Models of Motivation. 4..Contemporary Model . 5..Synthetic Model of Motivation. 6..Mead model of Interaction. 7..Schultz's Models of Interaction. 8. Models of Interaction. 9. Synthetic Models of Interaction. 10. Interpersonal Structure. 11. Models of Interpersonal Struc. 12. Models of Structuring. 13. Interaction of Micro Dynamics. 14.Speculation. 15.Terminal Examination.	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂					
教科書 1	A Theory of Social Interaction. 著者: J.H.Turner. 出版社: Stanford University Press. ISBN: 0-8047-14797						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会学研究指導 I			履修期	2020年度 春学期		
担当者	姜 明求					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「論文の書き方の理解」がテーマである。到達目標は、質の高い博士論文の作成に取り組む。博士論文の研究を行うために必要な文献、資料の収集、先行研究の精査・分析の方法、文章のまとめ方、発表のノウハウ、論理的思考力、コミュニケーション能力などの養成を目標にする。						
概要	それぞれの専攻分野において研究を進展させ、研究者として自立できる能力を獲得し、博士課程在学中に博士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、研究指導 I から研究指導 VI に至るステップが設定されている。 第1年次においては、内外の関連文献を読み進め、文献資料・統計資料を可能な限り収集・分析し、研究課題の焦点を絞っていく。必要に応じて、事例調査やフィールドワークなどを試みる。専門分野における資料の探し方、文献・資料の読み方、研究のデザイン、研究目的に合わせたデータ解析の方法などについて、具体的に指導する。研究課題の焦点が絞られていく過程において、場合によっては、研究方向をやや転換させる必要が生まれるかもしれない。						
評価方法	プレゼンテーション、発表内容と討論への姿勢(40%)、試験(40%)・研究の進捗度(20%)によって総合的に評価。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業であるので、問題意識を持つと共に、しっかり予習をし、出席して積極的な姿勢で討論に参加すること。また、復習をすること。メール、携帯電話、私語、無断退室、無断欠席は厳禁。						
自己学習	毎回討論に参加するために予習の徹底(毎回2時間)と講義後に復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.各自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告 3.各自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告 4.各自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告 5.資料の収集とまとめ方の指導 6.資料の収集とまとめ方の指導 7.研究テーマに合わせた文献の紹介 8.研究テーマに合わせた文献の紹介 9.文献の発表と討論 10.文献の発表と討論 11.文献の発表と討論 12.研究テーマに合わせた文献の紹介 13.文献の発表と討論 14.文献の発表と討論 15.総合学習 16.試験	演習	姜					
教科書 1	研究テーマに応じて、講義時に参考書・資料などを予習ができるように適宜紹介・配布する。						
教科書 2							
参考書 1	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方 著者:新堀 聡 出版社:同文館						
参考書 2							





授業科目名	社会学研究指導Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	姜 明求					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「論文の書き方の理解」がテーマである。到達目標は、質の高い修士文の作成に取り組む。博士論文の研究を行うために必要な文献、資料の収集、先行研究の精査・分析の方法、文章のまとめ方、発表のノウハウ、論理的思考力、コミュニケーション能力などの養成を目標にする。						
概要	それぞれの専攻分野において研究を進展させ、研究者として自立できる能力を獲得し、博士課程在学中に博士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、研究指導Ⅰから研究指導Ⅵに至るステップが設定されている。 第1年次においては、研究とは何かを改めて考えて、基礎的な理論と方法を学び直し、自らの関心や問題意識と照合して、研究課題を暫定的に作り上げる。その暫定的な研究課題に即して、関連文献・資料を収集・分析し、研究課題を次第に精緻化していく。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、研究の交流をはかることにも努力する。 研究の成果は大学院社会学研究科博士課程発表会において報告して批判を受ける。						
評価方法	プレゼンテーション、発表内容と討論への姿勢(40%)、試験(40%)、研究の進捗度(20%)によって総合的に評価。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業であるので、問題意識を持つと共に、しっかり予習をし、出席して積極的な姿勢で討論に参加すること。また、復習をすること。メール、携帯電話、私語、無断退室、無断欠席は厳禁。						
自己学習	毎回討論に参加するために予習の徹底(毎回2時間)と講義後に復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスアワー	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.各自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告 3.各自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告 4.各自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告 5.資料の収集とまとめ方の指導 6.資料の収集とまとめ方の指導 7.研究テーマに合わせた文献の紹介 8.研究テーマに合わせた文献の紹介 9.文献の発表と討論 10.文献の発表と討論 11.研究テーマに合わせた文献の紹介 12.研究テーマに合わせた文献の紹介 13.文献の発表と討論 14.文献の発表と討論 15.文献の発表と討論 16.試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜		
教科書 1	研究テーマに応じて、予習ができるように講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
教科書 2							
参考書 1	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方 著者:新堀 聡 出版社:同文館						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究指導Ⅱ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 博士論文のための研究計画          到達目標: 研究計画の完成。          それぞれの専攻分野において研究を進展させ、研究者として自立できる能力を獲得し、博士課程在学中に博士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、社会学研究指導1から社会学研究指導6に至るステップが設定されている。第1年次においては、研究とは何か改めて確認して、基礎的な理論と方法を学びなおし、自らの研究関心や問題意識と照合して、研究課題を暫定的に作り上げる。その暫定的な研究課題に即して、関連文献・資料を収集・整理・分析して、研究課題を次第に精緻化していく。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、外部との研究交流をはかることにも努力する。研究の成果は、年度内に作業論文としてまとめ、1月下旬に予定されている大学院社会学研究科博士課程発表会において報告して、批判をうける。その上で、レプリカ審査制の学術雑誌(専門学会誌など)に投稿することを期待する。</p>						
概要	研究計画のデザインと作成に取り組む。						
評価方法	授業への参加状況(20%)、中間レポート(40%)、最終試験(40%)によって評価する。 なお、評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。						
履修条件・注意事項	社会学研究指導1から社会学研究指導6(各2単位)に至る合計12単位は必修である。						
自己学習	毎回授業で予習(30時間)と復習(30時間)をするための課題を指示する。						
オフィスアワー	12:45-13:00 Tuesdays (classroom)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概要説明</li> <li>2. 研究計画について</li> <li>3. 研究計画の書き方</li> <li>4. 研究計画の骨子</li> <li>5. 研究計画の作成</li> <li>6. 研究計画案への助言</li> <li>7. 研究計画の口頭発表</li> <li>8. 研究計画についての討論</li> <li>9. 研究計画と全体の構成</li> <li>10. 研究デザインと実際</li> <li>11. 研究計画の推敲</li> <li>12. 研究計画の完成</li> <li>13. 研究計画の口頭説明</li> <li>14. プレゼンテーション</li> <li>15. 全体総括</li> <li>16. 最終試験</li> </ol>			exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises test	Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö
教科書 1	From Topic to Defense: Writing a Quality Social Science Dissertation in 18 Months or Less 著者: O'reilly, A. E. et al. 出版社: Helpful Little Books ISBN: 978-1499604139						
教科書 2							
参考書 1	Getting the Best of Your Dissertation: Practical Perspectives for Effective Research 著者: Harris, D. 出版社: Thought Clearing ISBN: 978-099645604						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究指導Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:現代日本の教養教育          急速なAIの進化によって未来社会の予想が困難になりつつある。既存のテクニカルな知識は陳腐化し、時代遅れになる。AIに對抗できるのは芸術、美食、哲学、宗教といった「非合理的」な分野だけになるだろう。かつて哲学をはじめとする教養教育は「一般教養」として軽視されてきたが、再び存在感を増している。教養教育はいかなる形で役立つか。同時に「文科系科目」はいかなる意味で役に立つのかを明らかにする。          到達目標:教養教育または文科系科目の存在意義を1本の論文にまとめ研究雑誌に投稿する。</p>						
概要	<p>教養教育・文科系科目を学ぶ意義に関する論文・書籍を読み、①教養教育・人文系/社会科学系の学問の成り立ちを整理する。②それらの学問を学ぶことが、仕事と人生にどう役立つのかに関する考察を行う。③現代日本における教養教育の現状を把握する。④教養教育の問題点と改革すべき問題を検討する。</p>						
評価方法	試験によって評価する(100%)。課題や小論文は採点して返却するので、よく復習すること。						
履修条件・注意事項	与えられた文献は必ず読んで内容を整理しておくこと。						
自己学習	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に、研究室(9039)にて実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.ガイダンス 2.テキスト購読・批評 3.テキスト購読・批評 4.論文執筆部分の発表と批評 5.テキスト購読・批評 6.テキスト購読・批評 7.論文執筆部分の発表と批評 8.テキスト購読・批評 9.テキスト購読・批評 10.論文執筆部分の発表と批評 11.テキスト購読・批評 12.テキスト購読・批評 13.論文執筆部分の発表と批評 14.テキスト購読・批評 15..定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂					
教科書 1	<p>文系大学教育は仕事の役に立つのか          著者: 本田由紀(編著)          出版社: ナカニシヤ          ISBN: 978-4779513107</p>						
教科書 2	<p>大学の教育力          著者: 金子元久          出版社: ちくま新書          ISBN:978-4480063847</p>						
参考書 1	<p>シラバス論          著者: 芦田宏直          出版社: 晶文社          ISBN:978-4794971623</p>						
参考書 2	<p>General Education Essentials          著者: Paul Hanstedt          出版社: Wiley          ISBN: 978-118321850</p>						



授業科目名	社会学研究指導Ⅲ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 博士論文執筆のための研究手法          到達目標: それぞれのテーマで研究を進展させ、研究者として自立できる能力を修得する。          博士課程在学中に博士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心に、社会学研究指導1から社会学研究指導6に至るステップが設定されている。第2年次においては、内外の関連文献を読み進め、文献資料・統計資料を可能な限り収集・分析して、研究課題の焦点を絞っていく。必要に応じて、事例調査やフィールドワークなどを試みる。専門分野における資料の探し方、文献・資料の読み方、社会調査の企画とデザイン、研究目的に合わせたデータ解析の方法などについて、具体的に指導をうける。研究課題が絞られていく過程において、場合によっては、研究方向をやや転換させる必要が生まれるかもしれない。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、外部との研究交流をはかることにも引き続いて努力する。研究の成果は、年度内に作業論文としてまとめ、1月下旬に予定されている大学院社会学研究科博士課程発表会において報告して、批判をうける。その上で、レフェリー査読付きの学術雑誌(専門学会誌など)に投稿することを期待する。博士課程在学中に、少なくとも論文1篇が採択・掲載されることを期待する。</p>						
概要	1年次で完成させた研究計画をもとに、先行研究の批判的読解を深める。						
評価方法	授業への参加状況・積極性(20%)、2回の中間レポート(40%)、最終試験(プレゼンテーションおよびレポート 40%)によって評価する。なお、評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。						
履修条件・注意事項	社会学研究指導1から社会学研究指導6(各2単位)に至る合計12単位は必修である。						
自己学習	毎回授業で予習(30時間)と復習(30時間)をするための課題を指示する。						
オフィスワ-	12:45-13:30 Tuesdays (in classroom)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 授業の概要の説明 2. 先行研究の意味 3. 先行研究の検索 4. 先行研究の読解 5. 先行研究への批判的視座 6. 先行研究についての論考 7. 中間まとめ 8. 研究情報の収集 9. 研究情報の検索 10. 研究情報の読解・要約 11. 研究情報のファイリング 12. 資料の解釈 13. 資料の比較検討 14. 資料に基づく考察 15. 最終試験	exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises test	Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö					
教科書 1	From Topic to Defense: Writing a Quality Social Science Dissertation in 18 Months or Less 著者: O'reilly, A. E. et al. 出版社: Helpful Little Books ISBN: 978-1499604139						
教科書 2							
参考書 1	Getting the Best of Your Dissertation: Practical Perspectives for Effective Research 著者: Harris, D. 出版社: Thought Clearing ISBN: 978-099645604						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究指導Ⅳ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:博士論文の執筆  博士課程の最終学年であるから、当然のことながら博士論文の執筆を指導のテーマとする。自然科学では仮説・実験・結果・考察というパターンがあるが、人文社会系では実験が不可能であるため、質的・量的調査と文献の購読が重要な研究方法となる。これまでの研究の蓄積の上に博士論文を完成させる。</p> <p>到達目標:博士論文の草稿完成  博士論文の全体像が明らかになるまで執筆指導を行う。論文の客観的評価のために学会発表ができるところまで進めたいが、学会発表は執筆後でもよい。秋学期では論文完成のための補足調査、推敲が中心になるので、今学期までに全体の草稿を完成させたい。</p>						
概要	博士課程の学生が、これまでの研究によって積み上げてきた研究実績に基づき、博士論文の草稿を執筆する。これについてその目的、意義、方法、データ、先行研究、論述、説得力、結果などについて詳細に指導する。						
評価方法	試験(50%)と執筆論文(50%)によって評価する。評価については公表し、なぜそのような評価になったのか説明するので納得がいかない場合は申し出ること。説明と話し合いに応じる。						
履修条件・注意事項	社会学の基礎理論だけでなく社会思想、政治哲学などの知識も身につけること。						
自己学習	毎学期中、論文の執筆には4時間以上を要する。実際には毎日4時間以上だろう。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に、研究室(9309)にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.研究目的と意義の確認 2.研究方法の妥当性について 3.何がどこまで明らかに？ 4..先行研究チェック 5.命題の適切性 6..データの適切性 7.検証の適切性 8.ミクロな整合性のチェック 9.マクロ整合性のチェック 10.第1回目プレゼンテーション 11.個別的修正 12.査読(1) 13.査読(2) 14.プレゼンテーション 15.論文投稿の指導 16.定期試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂
教科書 1	博士号のとり方 著者: E.M.フィリップス 出版社: 名古屋大学出版会 ISBN: 978-4815809232						
教科書 2	社会科学のリサーチデザイン 著者: G.キング・他 出版社: 勁草書房 ISBN: 978-4326301508						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会学研究指導Ⅳ			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	姜 明求					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	2		
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「論文の書き方の理解」がテーマである。到達目標は、質の高い博士論文の作成に取り組む。博士論文の研究を行うために必要な文献、資料の収集、先行研究の精査・分析の方法、文章のまとめ方、発表のノウハウ、論理的思考力、コミュニケーション能力などの養成を目標にする。						
概要	それぞれの専攻分野において研究を進展させ、研究者として自立できる能力を獲得し、博士課程在学中に博士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、研究指導Ⅰから研究指導Ⅵに至るステップが設定されている。 第2年次においては、内外の関連文献を読み進め、文献資料・統計資料を可能な限り収集・分析し、研究課題の焦点を絞っていく。必要に応じて、事例調査やフィールドワークなどを試みる。専門分野における資料の探し方、文献・資料の読み方、研究のデザイン、研究目的に合わせたデータ解析の方法などについて、具体的に指導する。研究課題の焦点が絞られていく過程において、場合によっては、研究方向をやや転換させる必要が生まれるかもしれない。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、研究の交流をはかることにも引き続いて努力する。						
評価方法	プレゼンテーション、発表内容と討論への姿勢(40%)、研究の進捗度(60%)によって総合的に評価。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業であるので、問題意識を持つと共に、しっかり予習をし、出席して積極的な姿勢で討論に参加すること。また、復習をすること。メール、携帯電話、私語、無断退室、無断欠席は厳禁。						
自己学習	毎回討論に参加するために予習の徹底(毎回2時間)と講義後に復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスアワー	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.各自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告 3. 自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告 4. 自の選んだ研究テーマに合わせた研究文献の報告報 5.資料の収集とまとめ方の指導 6.資料の収集とまとめ方の指導の 7.研究テーマに合わせた文献の紹介と報告 8.研究テーマに合わせた文献の紹介と報告 9.文献の発表と討論 10.文献の発表と討論 11.研究テーマに合わせた文献の紹介と報告 12.研究テーマに合わせた文献の紹介と報告 13.文献の発表と討論 14.文献の発表と討論 15.文献の発表と討論 16.全体のまとめ	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜		
教科書 1	研究テーマに応じて、予習ができるように講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
教科書 2							
参考書 1	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方 著者:新堀 聡 出版社:同文館						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究指導Ⅳ			履修期	2020年度 秋学期	
担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス				NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	2	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態 演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 博士論文の執筆          到達目標: 博士論文の執筆のための手法や文献レビューの技能を修得する。          それぞれの専攻分野において研究を発展させ、研究者として自立できる能力を獲得し、博士課程在学中に博士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、社会学研究指導1から社会学研究指導6に至るステップが設定されている。第2年次においては、内外の関連文献を読み進め、文献資料・統計資料を可能な限り収集・分析して、研究課題の焦点を絞っていく。必要に応じて、事例調査やフィールドワークなどを試みる。専門分野における資料の探し方、文献・資料の読み方、社会調査の企画とデザイン、研究目的に合わせたデータ解析の方法などについて、具体的に指導をうける。研究課題が絞られていく過程において、場合によっては、研究方向をやや転換させる必要が生まれるかもしれない。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、外部との研究交流をはかることにも引き続いて努力する。研究の成果は、年度内に作業論文としてまとめ、1月下旬に予定されている大学院社会学研究科博士課程発表会において報告して、批判をうける。その上で、レフリー審査制をとる学術雑誌(専門学会誌など)に投稿することを期待する。博士課程在学中に、少なくとも論文1篇が採択・掲載されることを期待する。</p>					
概要	研究文献の精読、批判的読解の演習を中心とする。					
評価方法	授業への参加状況(20%), 中間レポート(40%), 最終試験(プレゼンテーションおよびレポート40%)によって評価する。なお、評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。					
履修条件・注意事項	社会学研究指導1から社会学研究指導6(各2単位)に至る合計12単位は必修である。					
自己学習	毎回授業で予習(30時間)と復習(30時間)をするための課題を指示する。					
オフィスアワー	12:45-13:00 Tuesdays (classroom).					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
			1. 授業の概要説明 2. 学術論文の検索 3. 学術論文の収集 4. 学術論文の読解 5. 学術論文の解釈 6. 学術論文についての論考 7. 中間まとめ(中間レポート) 8. 学術論文のレビュー執筆に向けて 9. 学術論文のレビューの目的 10. 学術論文のレビュー: 批判的読解 11. 学術論文のレビュー: 筆者の視点 12. 学術論文のレビューの意義 13. 学術論文のレビューの役割 14. 学術論文のレビュー: 論文執筆 15. 全体総括 16. 最終試験	exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises test	Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö	
教科書 1	From Topic to Defense: Writing a Quality Social Science Dissertation in 18 Months or Less 著者: O'reilly, A. E. et al. 出版社: Helpful Little Books ISBN: 978-1499604139					
教科書 2						
参考書 1	Getting the Best of Your Dissertation: Practical Perspectives for Effective Research 著者: Harris, D. 出版社: Thought Clearing					
参考書 2						

授業科目名	社会学研究指導Ⅴ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ 社会問題に関する実証的研究 さまざまな社会問題を実証的研究によって明らかにする。当該フィールドについて質的・量的調査を行う。具体的方法はフィールドワーク・統計調査法を用いる。</p> <p>到達目標 具体的テーマは博士後期課程の学生の研究テーマとする。年度末に学術論文執筆(1点)と学会での報告を目指す。</p>						
概要	学術論文の執筆を目指す。具体的には毎週、学生が論文の部分を執筆し、それを教員とともに批判的に検討する。内容に納得できない場合は次回までに書き直しを命じる。						
評価方法	試験(100%)によって評価する。課題や小論文は採点して返却するのでによる復習すること。						
履修条件・注意事項	社会調査に関する知識が必須である。統計学の知識があることが望ましい。学術論文をすでに1~2本書いていることが望ましい。						
自己学習	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)で、研究室(9309)にて実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.論文の目的と意義、方法の確認 2.研究計画・進捗状況確認 3..先行研究のレビュー(1) 4..先行研究のレビュー(2) 5..執筆部分に関する批判的検討 6..執筆部分に関する批判的検討 7..中間発表(プレゼン) 8..論文の批判的検討(方法) 9..論文の批判的検討(データ) 10..論文の批判的研究(論理) 11..論文の批判的検討(整合性) 12..論文の批判的検討(結論) 13..形式についてのチェック 14..プレゼンテーション 15.定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂					
教科書 1	<p>質的データ分析法 著者：佐藤郁也 出版社：新曜社 ISBN：978-4788510951</p>						
教科書 2	<p>社会調査のためのテキスト計量分析 著者：樋口耕一 出版社：ナカニシヤ出版 ISBN：978-4779508035</p>						
参考書 1	<p>これから論文を書く若者のために 著者：酒井 聡樹 出版社：共立出版 ISBN：974-4320005716</p>						
参考書 2							



授業科目名	社会学研究指導Ⅴ			履修期	2020年度 春学期		
担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 博士論文の執筆と発表          到達目標: 博士論文の完成。          それぞれのテーマでの研究を進展させ、研究者として自立できる能力を獲得し、博士課程在学中に博士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、社会学研究指導1から社会学研究指導6に至るステップが設定されている。第3年次においては、ひたすら、博士学位論文の完成をめざす。それまでの作業論文、投稿論文、調査集計結果などを基礎として、指導教授および副指導教授の個人指導のもとに進められる。「博士学位論文作成要領」は『大学院要覧』に掲載されているとおりである。現実の論文作成過程は、「社会学研究法」や「学術論文の書き方」などに書かれているマニュアル通りに進められるとは限らず、この段階においても、研究の各ステップの往復を繰り返すことも稀ではない。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、外部との研究交流をはかることにも引き続いて努力する。課程博士論文の提出締切りは、例年1月中旬に設定されており、その時期までに提出できれば、2月中旬に予定されている大学院社会学研究科博士論文公聴会において報告し批判を受け、審査委員会による審査を経て、3月には博士課程修了となる。</p>						
概要	博士論文の執筆を実際に行いながら助言し論文作成をサポートする。						
評価方法	授業への参加状況(20%), 2回の中間レポート(40%)、最終試験(プレゼンテーションおよびレポート 40%)によって評価する。なお、評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。						
履修条件・注意事項	社会学研究指導1から社会学研究指導6(各2単位)に至る合計12単位は必修である。						
自己学習	毎回授業で予習(30時間)と復習(30時間)をするための課題を指示する。						
オフィスワ-	12:45-13:30 Tuesdays (in classroom)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 授業の概要説明 2. 章立てと構成の確認 3. 論文の構成 4. 論文の章立て 5. 論文執筆状況の発表報告 6. 中間まとめ 7. 結論の書き方に関する助言 8. 結論の執筆状況の報告 9. 結論のまとめ方 10. 文献リスト 11. 論文初稿の提出 12. タイトルの付け方 13. 引用の書き方 14. 論文構成への助言、全体総括 15. 最終試験	exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises test	Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö					
教科書 1	From Topic to Defense: Writing a Quality Social Science Dissertation in 18 Months or Less 著者: O'reilly, A. E. et al. 出版社: Helpful Little Books ISBN: 978-1499604139						
教科書 2							
参考書 1	Getting the Best of Your Dissertation: Practical Perspectives for Effective Research 著者: Harris, D. 出版社: Thought Clearing ISBN: 978-099645604						
参考書 2							



授業科目名	社会学研究指導VI			履修期	2020年度 秋学期		
担当者	姜 明求					NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	3		
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「論文の書き方の理解」がテーマである。到達目標は、質の高い博士論文の作成に取り組む。博士論文の研究を行うために必要な文献、資料の収集、先行研究の精査・分析の方法、文章のまとめ方、発表のノウハウ、論理的思考力、コミュニケーション能力などの養成を目標にする。						
概要	<p>それぞれの専攻分野において研究を進展させ、研究者として自立できる能力を獲得し、博士課程在学中に博士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心に、研究指導Ⅰから研究指導Ⅵに至るステップが設定されている。</p> <p>第3年次においては、ひたすら、博士論文の完成をめざす。それまでの作業論文、投稿論文、調査集計結果などを基礎として、指導教授および副指導教授の個人指導のもとに進められる。「博士学位論文作成要領」は、『大学院要覧』に掲載されている。現実の研究過程は、社会学研究法に書かれているようなマニュアル通りに進められとは限らず、この段階においても、研究の各ステップの往復を繰り返すことも希ではない。</p> <p>過程博士論文の締め切りは、例年1月中旬に設定されており、その時期までに提出できれば、2月中旬に予定されている大学院社会学研究科博士論文審査会において報告して批判とともに審査をうける。審査委員会(3名)による審査を経て、3月には博士課程修了となる。</p>						
評価方法	プレゼンテーション、発表内容と討論への姿勢(40%)、論文の完成度(60%)によって総合的に評価。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業であるので、問題意識を持つと共に、しっかり予習をし、出席して積極的な姿勢で討論に参加すること。また、復習をすること。メール、携帯電話、私語、無断退室、無断欠席は厳禁。						
自己学習	毎回討論に参加するために予習の徹底(毎回2時間)と講義後に復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスアワー	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.論文の報告、討論、修正(各人) 3.論文の報告、討論、修正(各人) 4.論文の報告、討論、修正(各人) 5.論文の報告、討論、修正(各人) 6.論文の報告、討論、修正(各人) 7.論文執筆の1次完了、修正(各人) 8.論文執筆の1次完了、修正(各人) 9.論文の中間確認と修正(各人) 10.論文の中間確認と修正(各人) 11.論文の中間確認と修正(各人) 12.論文の中間確認と修正(各人) 13.論文の最終確認と編集(各人) 14.博士論文の完成と成果発表正(各人) 15.博士論文の完成と成果発表(各人) 16.全体のまとめ			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜
教科書 1	研究テーマに応じて、予習ができるように講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
教科書 2							
参考書 1	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方 著者:新堀 聡 出版社:同文館						
参考書 2							

授業科目名	社会学研究指導VI			履修期	2020年度 秋学期	
担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス				NO.	
配当学科	社会学研究科(博士後期)			年次	3	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態 演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 博士論文の執筆          到達目標: 博士論文の執筆のための手法や文献レビューの技能を修得する。          それぞれの専攻分野において研究を発展させ、研究者として自立できる能力を獲得し、博士課程在学中に博士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、社会学研究指導1から社会学研究指導6に至るステップが設定されている。第2年次においては、内外の関連文献を読み進め、文献資料・統計資料を可能な限り収集・分析して、研究課題の焦点を絞っていく。必要に応じて、事例調査やフィールドワークなどを試みる。専門分野における資料の探し方、文献・資料の読み方、社会調査の企画とデザイン、研究目的に合わせたデータ解析の方法などについて、具体的に指導をうける。研究課題が絞られていく過程において、場合によっては、研究方向をやや転換させる必要が生まれるかもしれない。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、外部との研究交流をはかることにも引き続いて努力する。研究の成果は、年度内に作業論文としてまとめ、1月下旬に予定されている大学院社会学研究科博士課程発表会において報告して、批判をうける。その上で、レフリー審査制をとる学術雑誌(専門学会誌など)に投稿することを期待する。博士課程在学中に、少なくとも論文1篇が採択・掲載されることを期待する。</p>					
概要	研究文献の精読、批判的読解の演習を中心とする。					
評価方法	授業への参加状況(20%), 中間レポート(40%), 最終試験(プレゼンテーションおよびレポート40%)によって評価する。なお、評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。					
履修条件・注意事項	社会学研究指導1から社会学研究指導6(各2単位)に至る合計12単位は必修である。					
自己学習	毎回授業で予習(30時間)と復習(30時間)をするための課題を指示する。					
オフィスアワー	12:45-13:30 Tuesdays (classroom).					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
			1. 授業の概要説明 2. 学術論文の検索 3. 学術論文の収集 4. 学術論文の読解 5. 学術論文の解釈 6. 学術論文についての論考 7. 中間まとめ(中間レポート) 8. 学術論文のレビュー執筆に向けて 9. 学術論文のレビューの目的 10. 学術論文のレビュー: 批判的読解 11. 学術論文のレビュー: 筆者の視点 12. 学術論文のレビューの意義 13. 学術論文のレビューの役割 14. 学術論文のレビュー: 論文執筆 15. 全体総括 16. 最終試験	exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises exercises test	Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö Merviö	
教科書 1	From Topic to Defense: Writing a Quality Social Science Dissertation in 18 Months or Less 著者: O'reilly, A. E. et al. 出版社: Helpful Little Books ISBN: 978-1499604139					
教科書 2						
参考書 1	Getting the Best of Your Dissertation: Practical Perspectives for Effective Research 著者: Harris, D. 出版社: Thought Clearing					
参考書 2						